

緑の気候基金（GCF）の近年の動向に関する調査

報 告 書

2019 年 9 月

国立研究開発法人国立環境研究所

協力：パシフィックコンサルタンツ株式会社

謝辞：本調査は、環境研究総合推進費 S14-5(4)「気候変動に対する実効性ある緩和と適応の実施に資する国際制度に関する研究」の下で実施しました。

目次

概要	1
1. 本業務の目的と内容	2
1.1 本業務の目的	2
1.2 本業務の内容	2
2. 緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）の概要	3
2.1 GCF 設立の経緯	3
2.2 GCF の運営	3
2.3 GCF 資金の分配	3
2.4 既存の気候資金と GCF 資金との関係	4
2.5 長期的気候資金と GCF 資金の関係	4
3. GCF 資金の拠出国・地域に関する調査	7
3.1 GCF 資金の拠出国・地域	7
4. GCF 資金の受け取り手に関する調査	12
4.1 認証機関（AE）のタイプ別の分類	12
4.2 GCF プロジェクトの承認額の推移	12
4.3 GCF プロジェクトの地域・国別の整理	13
4.4 資金の供与方法	17
5. GCF プロジェクトのタイプ・規模に関する調査	18
5.1 セクター別の分類	18
5.2 プロジェクトタイプ別及び規模別の分類	18
6. GCF プロジェクトによる温室効果ガス排出削減に関する調査	22
6.1 温室効果ガス排出削減量	22
7. GCF プロジェクトによる適応能力の増強に関する調査	23
7.1 受益者数	23
8. GCF の課題に関する調査	24
8.1 アクセス機関の偏り	24
8.2 資金補充（Replenishment）	24
8.3 GCF のパフォーマンスの促進	25
9. 参考資料	26
9.1 GCF プロジェクト一覧（2019 年 9 月時点）	26

略語一覧

略語	英語表記	日本語表記
ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
AE	Accredited Entity	認証機関
AF	Adaptation Fund	適応基金
AfDB	African Development Bank	アフリカ開発銀行
COP	Conference of Parties	締約国会議
DNA	Designated National Authority	国家指定機関
EBRD	European Bank for Reconsutruction and Development	欧州復興開発銀行
FAA	Funded Activity Agreement	活動合意書
FP	Funding Proposal	－
GCF	Green Climate Fund	緑の気候基金
GEF	Global Environment Facility	地球環境ファシリティ
GHG	Green House Gas	温室効果ガス
IDB	Inter-American Development Bank	米州開発銀行
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
LDC	Least Developed Country	後発開発途上国
LDCF	Least Developed Countries Fund	後発開発途上国基金
NGO	Non-Governmental Organisation	非政府組織
OECD	Organisation for Economic Cooperation and Development	経済協力開発機構
REDD	Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation	森林減少・劣化に由来する排出の削減
SAP	Simplified Approval Process	－
SCCF	Special Climate Change Fund	特別気候変動基金
SIDS	Small Island Developing States	小島嶼開発途上国
UNDP	United Nations Development Programme	国際連合開発計画
UNFCCC	United Nations Framework Convention on Climate Change	気候変動に関する国際連合枠組条約
WB	World Bank	世界銀行

概要

緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）は、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の下、途上国における気候変動緩和策と適応策の実施に必要な資金を供給するために、2010年に設立された基金である。政府からの公的支援のみならず民間からの投資も対象としていることや、緩和策と適応策とのバランスの重視が求められていることなど、過去の基金とは異なる特徴を有する。

本業務では今までの同基金の活動の実態を把握することを目的に調査を行ったところ、下記が明らかとなった。

- ✓ 2019年1月時点で、48の国・地域から合計102億USD相当の拠出が公表・署名されており、そのうち約90%は拠出額の上位10カ国が占める。実際に各国から拠出された資金は約7,923.2百万USD（署名額の約77.4%）であり、特にアメリカの未拠出分である2,000百万USDの影響が大きい。
- ✓ 2019年9月時点で、111件に対して合計5,232.9百万USDの拠出が承認されているが、実際に各案件に拠出された資金の合計は約595.9百万USDと、まだ低い値にとどまっている。
- ✓ 認証機関では、UNDPが突出して多い24件を実施している。
- ✓ プロジェクトのホスト国による地域別件数の割合では、アフリカ地域が38%、アジア太平洋地域が37%、中南米・カリブ地域が25%、東欧地域が5%である。プロジェクトの実施件数では、ケニア、ナミビア及びモンゴルが7件と最も多いが、プロジェクトの承認額でみるとブラジルが最も多い。
- ✓ 資金の供与方法は、無償又は有償が87.2%を占める。
- ✓ 公共セクターでのプロジェクト件数が86件と多数を占めるものの、GCFから供与される資金規模で見ると、民間セクターでのプロジェクト1件あたりの平均的な供与額は公共セクターの約2.4倍に達する。
- ✓ プロジェクトのタイプ別で見ると、緩和33件、緩和+適応28件、適応50件であるが、GCFから供与される資金規模で見ると緩和42%、緩和+適応33%、適応25%と緩和への資金が多い傾向が見られる。
- ✓ 事業期間中のGHG排出削減総量は、約1,544.4百万トンCO₂eであり、その内訳は、緩和プロジェクトで約1,282百万トンCO₂e、緩和+適応プロジェクトで約262.4百万トンCO₂eである。
- ✓ 事業期間中の受益者総数は、約312.6百万人であり、その内訳は、適応プロジェクトが約160.1百万人、緩和+適応プロジェクトは約148.7百万人である。

1. 本業務の目的と内容

1.1 本業務の目的

緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）は、気候変動に関する国際連合枠組条約（UNFCCC）の下、途上国における気候変動緩和策と適応策の実施に必要な資金を供給するために、2010 年に設立された基金である。政府からの公的支援のみならず民間からの投資も対象としていたり、緩和策と適応策とのバランスの重視が求められていることなど、過去の基金とは異なる特徴を有する。

2020 年には設立 10 周年を迎え、UNFCCC の下での交渉では 2025 年以降の資金目標の議論も本格化することから、本業務では今までの同基金の活動の実態を把握することを目的に調査を行った。

1.2 本業務の内容

本業務では、GCF ホームページに掲載されている情報、特に 2018 年から 2019 年にかけて公表されたものを中心に、以下の観点についてとりまとめた。

- (1) 設立以降、直近までの資金拠出者と拠出金額、年毎の数値と経年的推移（本報告書の第 3 章）
- (2) 設立以降、直近までの資金受け取り者と受け取り金額、年毎の数値と経年的推移（本報告書の第 4 章）
- (3) 設立以降、直近までに承認されたプロジェクトの分類とそれぞれの金額（本報告書の第 5 章）
- (4) GCF で実施された緩和策プロジェクトによって想定される温室効果ガス排出削減量の推計（本報告書の第 6 章）
- (5) GCF で実施された適応策プロジェクトによって想定される適応能力増強の観点からの評価（本報告書の第 7 章）
- (6) 気候変動対策関連で活動を本格化しつつある CGF の現状の問題点、あるいは今後の課題（本報告書の第 8 章）

2. 緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）の概要

2.1 GCF 設立の経緯¹

GCF は、開発途上国の緩和と適応を支援するため、気候変動に関する国際連合枠組条約（UNFCCC）に基づく資金メカニズム（第 11 条）の運営を委託された基金である。2010 年にメキシコのカンクンで開催された国連気候変動枠組条約第 16 回締約国会議（COP16）で設立が決定され（Decision.1/CP.16）、2011 年の COP17 で委託機関として指定された（Decision.3/CP.17）。日本が 2015 年 5 月に約 1,540 億円の資金の拠出を確定したことにより、2014 年 11 月に GCF の High-level Pledging Conference で各国が誓約した総額の 50%を上回り（58.5%）、GCF は支援を開始可能となった。²

2.2 GCF の運営³

GCF の運営方針は GCF 理事会により決定され、理事会は COP に対する説明責任を負う。理事会は 24 名の理事と 24 名の理事代理で構成され、先進国と途上国から半数ずつ選出する。途上国の委員には小島嶼開発途上国（SIDS）及び後発開発途上国（LDCs）の代表を含むこととしている。日本からは理事及び理事代理に 1 名ずつ選出されている。理事会の決定は全会一致（コンセンサス）を原則としている。

2.3 GCF 資金の分配

GCF 資金への申請は、GCF 理事会が承認した機関（Accredited Entities: AEs）を通じて行う。AE はプロジェクトの地域規模（国際、地域、国内）により International と Direct（Regional、National）アクセス機関に分けられる。プロジェクトのホスト国は、国家指定機関（Designated National Authority: DNA）を定め、AE が申請するファンディングプロポーザルに対して、自国の気候変動政策に沿うものであればこれに同意する。⁴ 図 1 に資金申請のフローと関係機関の役割を示す。

GCF 理事会は、緩和と適応のプロジェクトへの資金配分として 50 対 50 とすることを目標に定めている。また、適応資金の 50%以上は、LDCs、SIDS 及びアフリカ諸国に配分することを目標に定めている。

⁵ なお、国・地域が GCF に資金を拠出する際には、緩和や適応の用途の指定はできない。⁶

¹ 外務省 緑の気候基金ウェブサイト、2019 年 5 月 17 日更新 https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ch/page1w_000123.html

² “GCF reaches effectiveness, can begin allocating resources ahead of Paris Climate Conference” (2015 年 5 月) <https://www.mofa.go.jp/files/000086656.pdf>

³ “GCF Handbook: Decisions, policies, and frameworks –as agreed by the Board of the Green Climate Fund from B.01 to B.22,” June 2019 のうち、“GREEN CLIMATE FUND GOVERNING INSTRUMENT”の“II. Governance and institutional arrangement”の“C. Rules of procedure of the Board”,p.26-27.

⁴ “GCF Handbook: Decisions, policies, and frameworks –as agreed by the Board of the Green Climate Fund from B.01 to B.22,” June 2019 のうち、“GREEN CLIMATE FUND GOVERNING INSTRUMENT”の“V. Operational modalities”の“D. Access modalities and accreditation”,p.30-31.

⁵ “GCF Handbook: Decisions, policies, and frameworks –as agreed by the Board of the Green Climate Fund from B.01 to B.22,” June 2019 のうち、“Decisions and policy frameworks”の“Chapter I. Business model and funding related policies”、“Allocation of Funding resource”の“DECISION B.06/06: Adoption of initial parameters and guidelines for allocation of resources”,p.38.

⁶ “Policies for Contributions to the Green Climate Fund: Recommendations by Interested Contributors” (GCF/B.08/16), p.5-6

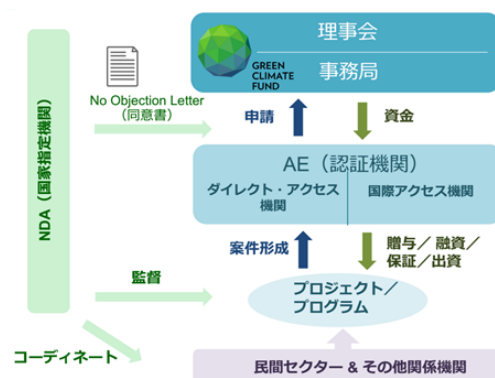


図 1 GCF 活用の全体概念図

出典：緑の気候基金（Green Climate Fund: GCF）について <https://www.env.go.jp/earth/ondanka/gcf.html>

2.4 既存の気候資金と GCF 資金との関係

UNFCCC の下には特別気候変動基金（Special Climate Change Fund: SCCF）及び後発開発途上国基金（Least Developed Countries Fund: LDCF）が設けられており、また、京都議定書の下には適応基金（Adaptation Fund: AF）が設けられている。SCCF 及び LDCF は、UNFCCC の資金メカニズムの実施を委託されている地球環境ファシリティ（Global Environment Facility: GEF）が運営している。

パリ協定第 58 項において、「COP の資金メカニズムを運営する GCF 及び GEF は、GEF が管理する SCCF と LDCF を含め、パリ協定の目標達成に努めること」が決定されていることから、SCCF と LDCF は GCF と同じくパリ協定の下で運用されている。⁷ AF についても、第 1 回パリ協定締約国会合の決定 13（Decision 13/CMA.1）及び第 14 回京都議定書締約国会合の決定 1（Decision 1 / CMP.14）において「2019 年から COP のガイダンスの下でパリ協定の目標達成に努めること」が決定されている。⁸

2.5 長期的気候資金と GCF 資金の関係

2010 年の COP16 のカンクン合意において、先進国は途上国への気候資金として 1,000 億ドルを動員するとしている。

UNFCCC では、COP16 で設立された資金に関する常設委員会（Standing Committee on Finance）が UNFCCC の資金メカニズムに係る資金フローを報告⁹している。最新の報告は、2018 年に公表¹⁰された隔年評価報告書（Biennial Assessment Report: BA）で、2015 年から 2016 年にかけての公的機関及び民間機関による気候変動資金フローを整理している（図 2）。

UNFCCC の BA2018 によると、2016 年における non-AnnexI 国（途上国）への気候資金フロー

⁷ UNFCCC Global Environment Facility, 2019 年 8 月 19 日アクセス
<https://unfccc.int/topics/climate-finance/funds-entities-bodies/global-environment-facility>

⁸ UNFCCC Adaptation Fund, 2019 年 8 月 19 日アクセス
<https://unfccc.int/process/bodies/funds-and-financial-entities/adaptation-fund>

⁹ UNFCCC Standing Committee on Finance (SCF), 2019 年 9 月 19 日アクセス <https://unfccc.int/scf>

¹⁰ UNFCCC Biennial Assessment and Overview of, Climate Finance Flows, 2019 年 9 月 19 日アクセス
<https://unfccc.int/topics/climate-finance/resources/biennial-assessment-of-climate-finance>

は、UNFCCC 基金からの拠出が 16 億ドル、UNFCCC 基金を含む多国間気候基金が 24 億ドルを拠出している¹¹と報告しており、GCF はこれら基金に含まれる。¹² また、AnnexII 国（韓国、メキシコを除く先進国）が UNFCCC に提出している隔年報告書から抽出した途上国への気候資金は 2016 年に 336 億ドル、多国間開発銀行による気候資金は 197 億ドル、その他の民間資金として 172 億ドルと報告しており、合計 745 億ドルと推計している。ただし、民間資金についてはデータが十分でなく、不確実性を有するとしている（BA2018 サマリーレポートの 5 ページ、第 29 項）。

UNFCCC 以外での長期的気候資金に関するレポートとしては、OECD が 2015 年に公表した気候変動資金と 1000 億ドルの目標に関する報告書¹³及び公的資金の流れをフォローした 2018 年の報告書¹⁴がある。2018 年度の報告では、先進国から途上国への「公的な気候資金」は合計 567 億ドルと推計している。民間資金については 2019 年度の報告書で公表予定としている。

また、本テーマに関して、2019 年 9 月 23 日に開催される国連気候行動サミットの主要テーマの一つとして「気候ファイナンスとカーボンプライシング」が挙げられており、年間 1,000 億ドルの達成に向けたセッションが設けられている。

¹¹ UNFCCC 基金とは LDCF、SCCF、AF、GCF を指すと考えるが、「UNFCCC 基金から 16 億ドル」と「多国間機構基金（UNFCCC 基金を含む）から 24 億ドル」との記述における、それぞれの「UNFCCC 基金」が何を指しているのかは、BA2018 からは把握できない。

¹² 2019 年 9 月時点で GCF の拠出額は 102 億ドルに達しており（本報告の第 3 章を参照）、プロジェクトの事業費は協調融資等資金も含むと 187 億ドルに上る（第 4 章を参照）。

¹³ “Climate Finance in 2013-14 and the USD 100 billion Goal,” OECD, 2015.

<http://www.oecd.org/env/climate-finance-in-2013-14-and-the-usd-100-billion-goal-9789264249424-en.htm>

¹⁴ “Climate finance from developed to developing countries: Public flows in 2013-2017,” OECD, 2018.

<http://www.oecd.org/env/climate-finance-in-2013-14-and-the-usd-100-billion-goal-9789264249424-en.htm>

Climate finance flows in the period 2015–2016 (Billions of United States dollars, annualized)

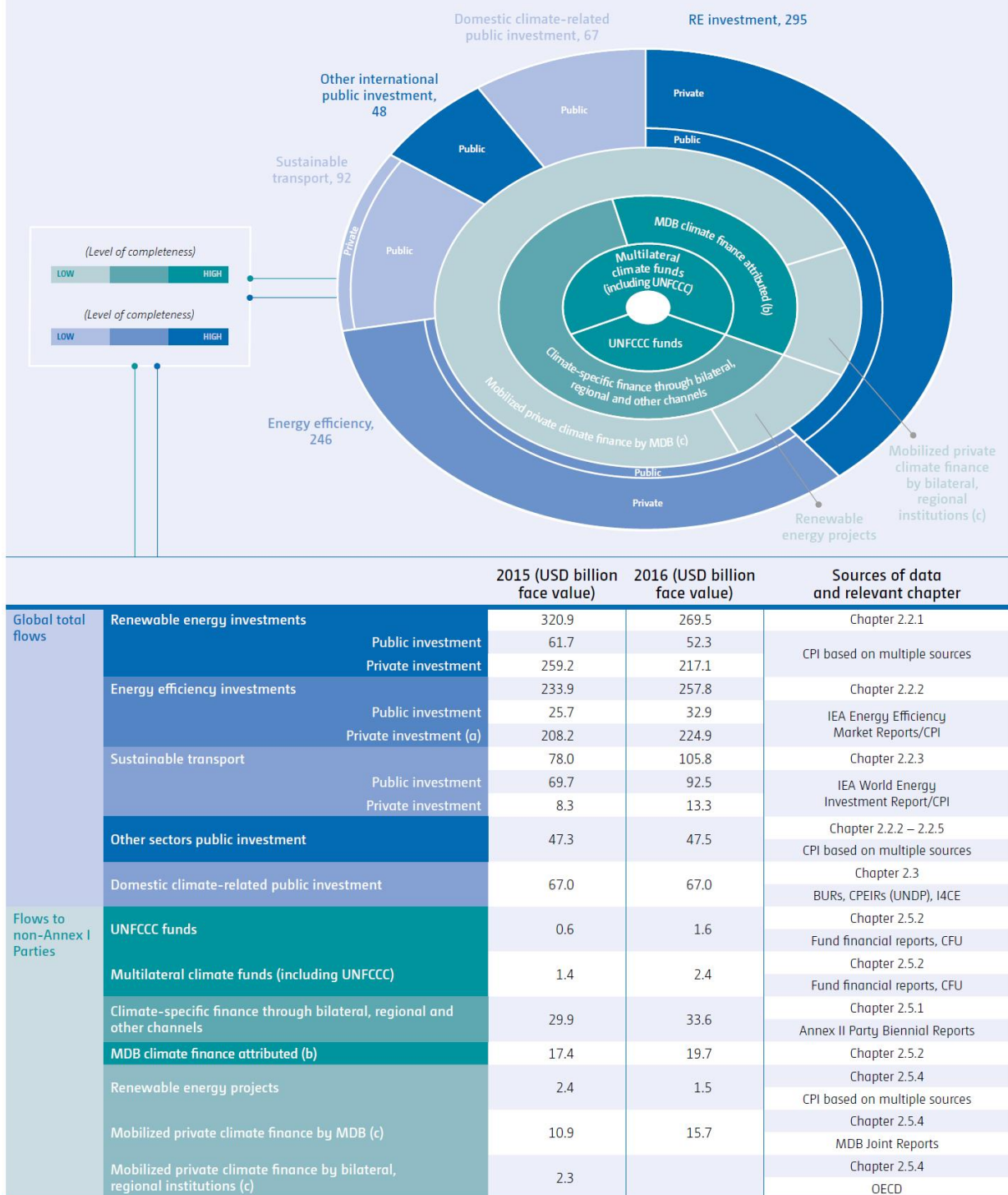


図2 2015年から2016年での気候変動資金フロー

出典：「2018 Biennial Assessment and Overview of Climate Finance Flows: Technical Report,” p.56, UNFCCC Standing Committee on Finance, 2018

3. GCF 資金の拠出国・地域に関する調査

3.1 GCF 資金の拠出国・地域

GCF はその活動を毎年 COP に報告しており、GCF が支援活動を開始した 2015 年（COP21）から各拠出国・地域からの拠出額を整理して報告している。報告書では、①拠出国・地域、②公表済み拠出額（申請通貨及び USD 換算）、③公表済み拠出額のうち署名済みの拠出額（USD 換算）、④実際の拠出額（申請通貨）、⑤拠出国・地域の公表額を人口で割った額（USD 換算）及び⑥拠出額のうちの無償資金等価額（USD 換算）を下図のようにまとめている。

① 拠出国・地域 Governments	Pledges					Grant Equivalent		
	Announced		Signed	Disbursed Cash and Deposited PNs	Announced Per Capita	of Pledged Amount	of Signed Amount	of Pledged Amount
	In Currency ^a	USD eq. ^{a,2}	USD eq. ^{a,2}	In Currency ^a	USD eq. ^{a,2}	USD eq. ^{a,2}	USD eq. ^{a,2}	Current FX ^{a,3}
Amounts Announced, Signed, and Disbursed								
Australia	AUD	200.3	187.2	187.2	185.9	187.2	187.2	148.7
Austria ^a	EUR	26.0	34.8	34.8	26.0	34.8	34.8	30.4
Belgium	EUR	50.0	66.9	66.9	50.0	66.9	66.9	58.5

図 3 国・地域からの拠出額の整理

出典："Report of the Green Climate Fund to the Conference of the Parties" (FCCC/CP/2018/5),
<https://unfccc.int/sites/default/files/resource/docs/2017/cop23/eng/05.pdf>

2015 年から 2018 年までの GCF から COP への報告書と 2019 年 1 月の GCF の発表から、国・地域ごとの拠出額を整理した（表 1、図 4）。表の列は署名された拠出額を示し、行は国・地域が拠出した総額を示す。例えば、No.20 の日本は 2015 年の"Contribution Arrangement"¹⁵において約 1,540 億円（約 1,500 百万 USD）の拠出に署名しており、その後の追加的な拠出は無いため、2019 年 1 月時点の署名済みの拠出総額は約 1,540 億円であることを示している。また、各年に示す拠出額は、当該国・地域がその時点で署名している拠出額の合計であり、実際の支払いスケジュールは各国ごとに異なる。例えば、日本は 2015 年に総額約 1,540 億円の拠出に署名しているが、実際の拠出は Contribution Agreement に示すタイミングに従い、2015 年から 2018 年にかけて毎年約 38 億円を拠出している。各拠出国・地域の"Contribution Arrangement"は GCF のウェブサイトを確認が可能である。¹⁶

2019 年 1 月時点で、48 の国・地域から合計 102 億 USD 相当の拠出が公表・署名されている。

¹⁷ GCF への資金の拠出は、先進国だけでなく途上国、公的機関や民間団体等から誓約することも可

¹⁵ "Contribution Arrangement" https://www.greenclimate.fund/documents/20182/29917/Contribution_arrangement_-_Japan.pdf

¹⁶ Green Climate Fund "Contribution Agreements" <https://www.greenclimate.fund/library/-/docs/list/574026>

¹⁷ 公表しているが未署名の 79.7 百万 USD（コロンビア、アイスランド、イタリア、ペルー、ベトナム）を含めると 10,317.3 百万 USD 相当となる。脚注 23 資料参照。

能¹⁸であるが、国・都市・地域以外からの拠出は見られない。緑のハッチングは 2019 年時点で署名済拠出額が多い上位 10 カ国を示す。

表 1 国・地域ごとの公表・署名済み拠出誓約額 (Announced and Signed Pledges)

単位：百万 USDeq

No	国	2015 ¹⁹	2016 ²⁰	2017 ²¹	2018 ²²	2019 ²³
1	オーストラリア	187.0	187.1	187.2	187.2	187.3
2	オーストリア	25.0	34.8	34.8	34.8	34.8
3	ベルギー	54.3	66.9	66.9	66.9	66.9
4	ブルガリア	-	0.1	0.1	0.1	0.1
5	カナダ (無償)		155.1	155.1	155.1	155.1
	カナダ (有償)		101.6	101.6	101.6	101.6
	カナダ (クッション) ²⁴		20.3	20.3	20.3	20.3
6	チリ	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
7	コロンビア		0.3	0.3	0.3	0.3
8	キプロス	-		0.5	0.5	0.5
9	チェコ共和国	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
10	デンマーク	71.8	71.8	71.8	71.8	71.8
11	エストニア		1.3	1.3	1.3	1.3
12	フィンランド		46.4	46.4	107.0	107.0
13	フランス (無償)	577.9	577.9	577.9	577.9	577.9
	フランス (有償)		381.3	381.3	381.3	381.3
	フランス (クッション)		76.3	76.3	76.3	76.3
14	ドイツ	1,003.3	1,003.3	1,003.3	1,003.3	1,003.3
15	ハンガリー		4.3	4.3	4.3	4.3
16	アイスランド	0.2	0.3	0.7	0.9	0.9
17	インドネシア	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
18	アイルランド			2.7	5.4	8.0
19	イタリア		66.9	267.5	267.5	267.5
20	日本	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0
21	ラトビア	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
22	リヒテンシュタイン	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
23	リトアニア		0.1	0.1	0.1	0.1
24	ルクセンブルク	6.7	33.4	33.4	33.4	46.8
25	マルタ	0.1	0.2	0.2	0.3	0.5
26	メキシコ	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
27	モンゴル				0.0	0.0
28	モナコ	0.3	0.3	1.3	1.3	2.3
29	オランダ	133.8	133.8	133.8	133.8	133.8
30	ニュージーランド	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
31	ノルウェー	257.9	257.9	257.9	272.2	272.2

¹⁸ “Governing Instrument”, paragraphs 29 and 30. https://www.greenclimate.fund/documents/20182/1246728/Governing_Instrument.pdf

¹⁹ <https://unfccc.int/sites/default/files/resource/docs/2015/cop21/eng/03.pdf>

²⁰ <https://unfccc.int/sites/default/files/resource/docs/2016/cop22/eng/07r01.pdf>

²¹ <https://unfccc.int/sites/default/files/resource/docs/2017/cop23/eng/05.pdf>

²² <https://unfccc.int/sites/default/files/resource/docs/2017/cop23/eng/05.pdf>

²³ https://www.greenclimate.fund/documents/20182/24868/Status_of_Pledges.pdf/eef538d3-2987-4659-8c7c-5566ed6afd19 (2019 年 1 月)

²⁴ 有償で拠出する場合は、有償による拠出額の 20%を債務不履行等に備えたクッションとする。“Annex XIX: Policies for contributions” (GCF/B.08/45), p.108
https://www.greenclimate.fund/documents/20182/24946/GCF_B.08_45_-_Decisions_of_the_Board_-_Eighth_Meeting_of_the_Board_14-17_October_2014.pdf

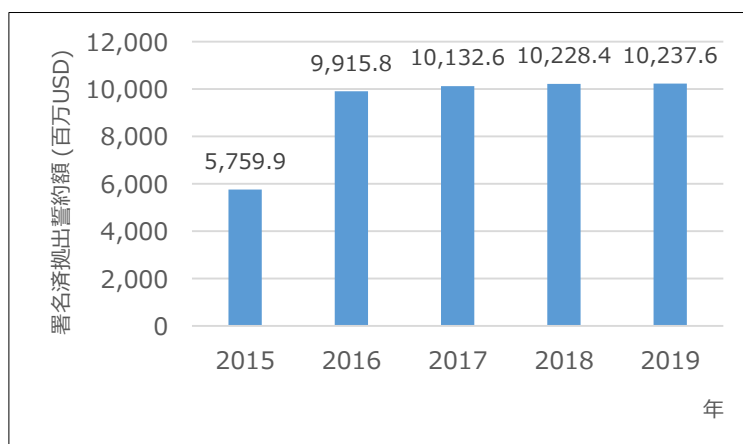
No	国	2015 ¹⁹	2016 ²⁰	2017 ²¹	2018 ²²	2019 ²³
32	パナマ	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0
33	ポーランド	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
34	ポルトガル		2.7	2.7	2.7	2.7
35	大韓民国	100.0	100	100	100	100
36	ルーマニア		0.1	0.1	0.1	0.1
37	ロシア連邦					3.0
38	スペイン		160.5	160.5	160.5	160.5
39	スウェーデン	581.2	581.2	581.2	581.2	581.2
40	スイス	30.0	100.0	100.0	100.0	100.0
41	イギリス	1,211.0	1,211.0	1,211.0	1,211.0	1,211.0
42	アメリカ合衆国		3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0
	合計	5,759.9	9,897.4	10,102.6	10,198.4	10,200.8

No	地域	2015	2016	2017	2018	2019
1	ベルギー（ブリュッセル首都地域）	-	1.5	4.8	4.8	4.8
2	ベルギー（フランダース地域）	-	4.7	13.0	13.0	19.8
	ベルギー（ワロン地域）	-	10.9	10.9	10.9	10.9
3	フランス（パリ）		1.3	1.3	1.3	1.3
	合計	-	18.4	30.0	30.0	36.8

※国・地域名はアルファベット順。

※緑ハッチングは 2019 年時点で署名済みの拠出額が多い上位 10 カ国を示す。

図 4 国・地域から GCF への拠出署名額の合計の推移



2019 年 1 月時点で、署名額が大きな 10 カ国は以下のとおり。これら 10 カ国で 9,227.9 百万 USD に上り、署名額の約 90%を占める。

表 2 署名額の上位 10 カ国

単位：百万 USD

	1	2	3	4	5
国	アメリカ(3,000)	日本(1,500)	イギリス(1,211)	フランス(1,035.5)	ドイツ(1,003.3)
	6	7	8	9	10
国	スウェーデン(581.2)	カナダ(277)	ノルウェー(272.2)	オーストラリア(187.2)	スペイン(160.5)

※フランスは国からの拠出額のみ。

2019年1月時点の情報を踏まえて、図3の「④拋出済額」の値をUSD換算での拋出済額とともに表3に整理した。これから、ほとんどの国・地域が既に公表額と同額を拋出済であり、約7,923.2百万USD（署名額の約77.4%）が実際に拋出されていることがわかる。表2に示す10カ国を見ると、これらの国の拋出済額は6,988.2百万USD（拋出済額の約88.2%）であり、GCF資金への影響が大きいことがわかる。また、上位10カ国の拋出済額は、同10カ国の署名額9,227.9百万USDの約75.7%となり、特にアメリカの未拋出分である2,000百万USDの影響が大きい。

表3 抛出国・地域ごとの拋出済額と公表額に対する割合

通貨額単位：百万

No.	国	申請 通貨	2019年		割合	署名済額	拋出済額
			公表額	拋出済額		USD	USD
1	オーストラリア	AUD	200.4	185.9	93%	187.3	173.7
2	オーストリア	EUR	26	26	100%	34.8	34.8
3	ベルギー	EUR	50	50	100%	66.9	66.9
4	ブルガリア	EUR	0.1	0.1	100%	0.1	0.1
5	カナダ（無償）	CAD	168	168	100%	155.1	155.1
	カナダ（有償）	CAD	110	0	0%	101.6	0.0
	カナダ（クッション）	CAD	22	0	0%	20.3	0.0
6	チリ	USD	0.3	0.3	100%	0.3	0.3
7	コロンビア	USD	0.3	0.3	100%	0.3	0.3
8	キプロス	EUR	0.4	0.4	100%	0.5	0.5
9	チェコ共和国	CZK	110	110	100%	5.3	5.3
10	デンマーク	DKK	400	400	100%	71.8	71.8
11	エストニア	EUR	1	1	100%	1.3	1.3
12	フィンランド	EUR	80	34.7	43%	107	46.4
13	フランス（無償）	EUR	432	432	100%	577.9	577.9
	フランス（有償）	EUR	285	285	100%	381.3	381.3
	フランス（クッション）	EUR	57	57	100%	76.3	76.3
14	ドイツ	EUR	750	750	100%	1,003.3	1003.3
15	ハンガリー	HUF	1000	1000	100%	4.3	4.3
16	アイスランド	USD	0.9	0.9	100%	0.9	0.9
17	インドネシア	USD	0.3	0.2	67%	0.3	0.2
18	アイルランド	EUR	6	6	100%	8	8.0
19	イタリア	EUR	200	200	100%	267.5	267.5
20	日本	JPY	154,028.7	154,028.7	100%	1,500	1500
21	ラトビア	EUR	0.4	0.4	100%	0.5	0.5
22	リヒテンシュタイン	CHF	0.1	0.1	100%	0.1	0.1
23	リトアニア	EUR	0.1	0.1	100%	0.1	0.1
24	ルクセンブルク	EUR	35	25	71%	46.8	33.4
25	マルタ	EUR	0.3	0.5	167%	0.5	0.8
26	メキシコ	USD	10	10	100%	10	10.0
27	モンゴル	MNT	90	0	0%	0	0.0
28	モナコ	EUR	1.8	1	56%	2.3	1.3
29	オランダ	EUR	100	100	100%	133.8	133.8
30	ニュージーランド	NZD	3	3	100%	2.6	2.6
31	ノルウェー	NOK	1689.1	1689.1	100%	272.2	272.2
32	パナマ	USD	1	1	100%	1	1.0

No.	国	申請 通貨	2019 年		割合	署名済額	拠出済額
			公表額	拠出済額		USD	USD
33	ポーランド	PLN	0.4	0.4	100%	0.1	0.1
34	ポルトガル	EUR	2	2	100%	2.7	2.7
35	大韓民国	USD	100	100	100%	100	100
36	ルーマニア	EUR	0.1	0.1	100%	0.1	0.1
37	ロシア連邦	USD	3	3	100%	3	3.0
38	スペイン	EUR	120	42	35%	160.5	56.2
39	スウェーデン	SEK	4000	4000	100%	581.2	581.2
40	スイス	USD	100	100	100%	100	100
41	イギリス	GBP	720	720	100%	1,211	1211
42	アメリカ合衆国	USD	3,000	1,000	33%	3,000	1000
合計							7,886.4
	地域	申請 通貨	公表額	拠出済額	割合	署名済額 USD	拠出済額 USD
1	ベルギー（ブリュッセル首都地域）	EUR	3.6	3.6	100%	4.8	4.8
2	ベルギー（フランドル地域）	EUR	14.8	14.8	100%	19.8	19.8
	ベルギー（ワロン地域）（1）	USD	1.5	1.5	100%	1.5	1.5
	ベルギー（ワロン地域）（2）	EUR	7	7	100%	9.4	9.4
3	フランス（パリ）	EUR	1	1	100%	1.3	1.3
合計							36.8

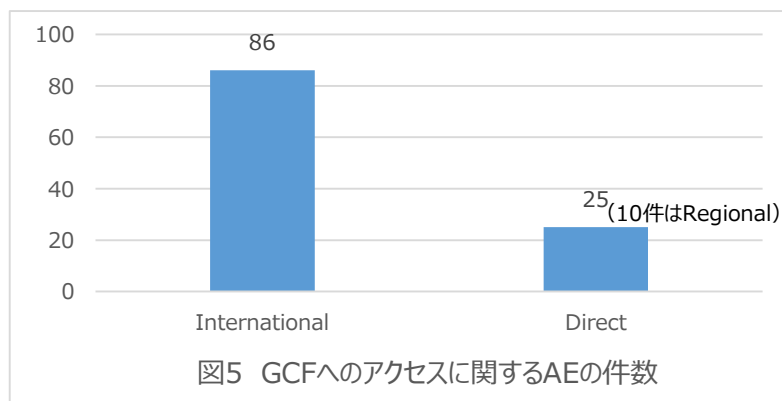
※黄色ハッチングは署名額の上位 10 カ国を示す。

4. GCF 資金の受け取り手に関する調査

4.1 認証機関（AE）のタイプ別の分類

GCF の資金は、1 章の図 1 で示したように AE が GCF にファンディングプロポーザル（FP）を提出し、GCF 理事会が承認した後に提供される。GCF プロジェクトは規模別に、マイクロ（総事業費 10 百万 USD 以下）、小規模（同 10～50 百万 USD）、中規模（同 50～250 百万 USD）、大規模（同 250 百万 USD 以上）に区分され、マイクロ或いは小規模かつ環境・社会リスクが低い事業は簡易案件採択プロセス（Simplified Approval Process: SAP）を適用することが可能である。

2019 年 9 月時点で、FP は合計 111 件（うち、SAP7 件）が採択されている。²⁵ 111 件のうち International AE が 86 件、Direct AE が 25 件を実施している（図 5）。International AE は、国際連合開発計画（UNDP）が 24 件と突出して多くの案件を実施している。UNDP に次いで、世界銀行（WB）とアジア開発銀行（ADB）がそれぞれ 9 件、米州開発銀行（IDB）と欧州復興開発銀行（EBRD）が 6 件、アフリカ開発銀行（AfDB）が 5 件と多い。なお、日本は、国際協力開発機構（JICA）と三菱 UFJ 銀行が International AE であるが、三菱 UFJ 銀行による 1 件（FP115 チリ）のみである。Direct AE では、Regional AE が 10 件、National AE が 15 件を実施している。Regional AE が実施する 10 件では、Acumen Fund（アメリカ）、Banque Ouest Africaine de Développement（トーゴ）及び Development Bank of Southern Africa（南アフリカ）がそれぞれ 2 件と最も多い。National AE が実施する 15 件では、Environmental Investment Fund（ナミビア）が 4 件、XacBank（モンゴル）が 3 件と最も多い。



4.2 GCF プロジェクトの承認額の推移

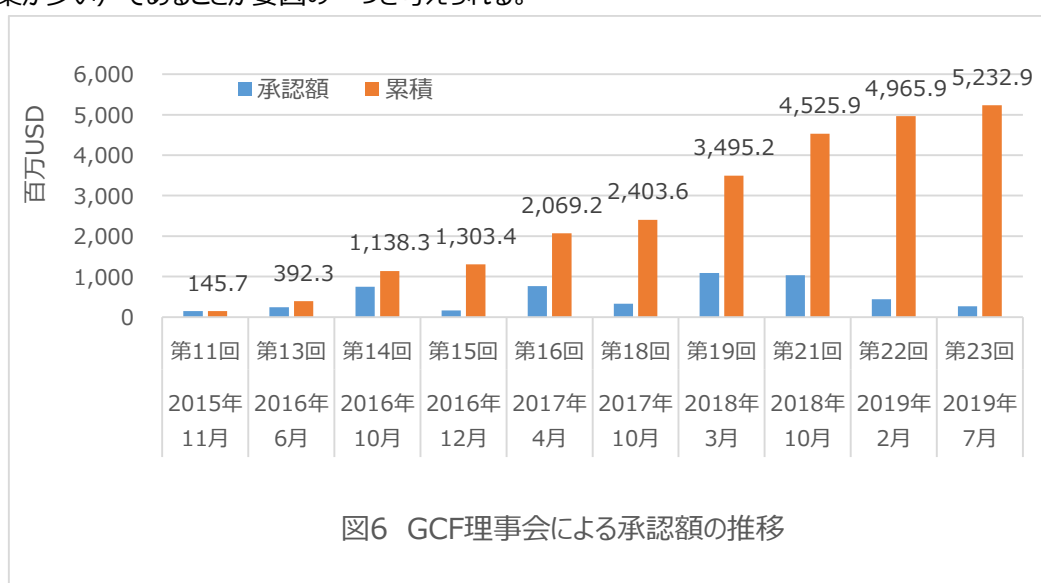
2015 年 11 月の第 11 回 GCF 委員会で FP001（ペルー）に対して 6.2 百万 USD の拠出が決定されてから 2019 年 9 月時点までの合計 111 件に合計 5,232.9 百万 USD の拠出が承認さ

²⁵ FP006（メキシコ）、FP029（南アフリカ）、FP030（アルゼンチン）、FP054（アルゼンチン）は失効（Lapsed）しており、FP031、FP032、FP055、FP057、FP079、FP082、FP088 は GCF ウェブサイトに掲載されていない（欠番）。

れており（失効した4件を除く）²⁶（図6）、プロジェクトへの協調融資等を含むプロジェクト総事業費は18,737.6百万USDに上る。

GCFがプロジェクトを承認した後は、GCFとAEは、活動合意書（Funded Activity Agreement: FAA）を締結し、GCFはFAAの内容に従って資金を拠出する（実際にはGCF資金の管理機関（2019年時点では世界銀行）が拠出する）。GCFウェブサイトによると、2019年9月時点で、FAAが締結されたプロジェクトの承認額は2,400百万USDとしている。²⁷

GCFウェブサイトの情報から算定した、実際に各プロジェクトに拠出された金額の合計は約595.9百万USD（承認額の約11%、FAA締結プロジェクトの24.8%）である。²⁸ 実際の拠出額が小さい要因としては、2019年時点では、開始されたばかりのプロジェクトが多いため（2017年に開始している事業が多い）であることが要因の一つと考えられる。



4.3 GCFプロジェクトの地域・国別の整理

111件のプロジェクトのホスト国による地域別の件数を見てみると、アフリカ地域が46件、アジア太平洋地域が44件、中南米・カリブ地域が24件、東欧地域が6件である（図7）。アフリカ及びアジア・太平洋地域での実施など、複数地域で実施されているプロジェクトがあるため、合計が111件を上回る120件となっている。²⁹ 2019年9月において、99カ国でプロジェクトを実施しており、最もプロジェクトの件数が多い国はケニア、ナミビア及びモンゴルの7件、次いでナイジェリア、モロッコの6件、ウガンダ、セネガル、タジキスタン、ブルキナファソ、ベナンの5件が続く（表4）。一方、GCFの承認額でみると、ブラジル（3件、300.6百万USD）、モンゴル（7件、241.6百万USD）、エジプト（4件、239.9

²⁶ GCFでは、プロジェクトへの資金拠出の他に、NDAやDirect AEへのキャパシティビルディングとして“Readiness and Preparatory Support Programme”を実施しており、2019年9月時点で251件に対して合計約138百万USDを承認している。

²⁷ “Portfolio Dashboard”（2019年8月22日更新）<https://www.greendclimate.fund/what-we-do/portfolio-dashboard>

²⁸ GCFウェブサイトの“Projects + programmes”の各プロジェクトページに示されている承認額と拠出済みパーセンテージから算出した。

²⁹ FP025及びFP086（EBRDによるアフリカ、アジア・太平洋、東欧での緩和・適応事業）、FP038（EIBによる4地域での緩和事業）、FP095（Agence Française de Développementによるアフリカ、中南米・カリブでの緩和・適応事業）、FP099（Nederlandse Financieringsによるアフリカ、アジア・太平洋での緩和事業）

百万 USD) が大きい。³⁰ (表 5) GCF 資金の分配を地域別で見ると、図 7 に示す件数の分布割合と同程度である (図 8)。なお、GCF のウェブサイトによると、後発開発途上国では 40 件、小島嶼開発途上国では 23 件を実施している。³¹

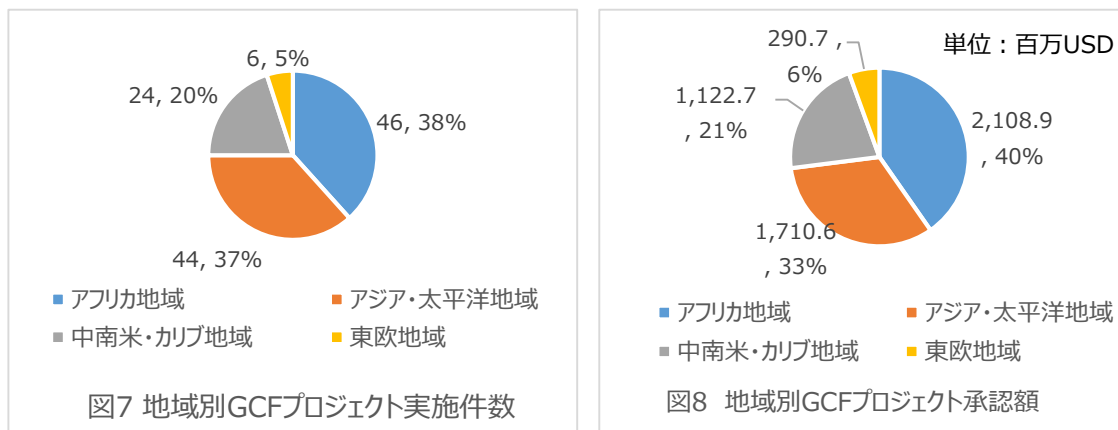


表 4 地域・国別の GCF プロジェクトの実施件数

2019 年 9 月時点

件数	アフリカ	アジア・太平洋	中南米・カリブ	東欧
7	ケニア、ナミビア	モンゴル		
6	ナイジェリア、モロッコ			
5	ウガンダ、セネガル、ブルキナファソ、ベナン	タジキスタン		
4	エジプト、マダガスカル、マリ、南アフリカ		グアテマラ、グレナダ	ジョージア
3	カメルーン、コートジボワール、タンザニア、トーゴ、モーリシャス	インド、パキスタン、バングラデシュ、マーシャル諸島、ヨルダン	エクアドル、エルサルバドル、チリ、ブラジル、ドミニカ国	アルメニア
2	ガーナ、コモロ、コンゴ民主共和国、ザンビア、チュニジア、ニジェール、マラウイ、ルワンダ	インドネシア、サモア、トンガ、ナウル、パプアニューギニア、ブータン、ベトナム	コスタリカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセントおよびグレナディーン諸島、ドミニカ共和国、パラグアイ、バルバドス、ペリズ、ホンジュラス、メキシコ	セルビア、モルドバ
1	エチオピア、エスチワニ、ギニア、ギニアビサウ、ガンビア、ジブチ、ジンバブエ、赤道ギニア、チャド、ブルンジ、レソト	ウズベキスタン、キルギス、カザフスタン、カンボジア、キルギスタン、クック諸島、スリランカ、ソロモン諸島、ツバル、バヌアツ、東ティモール、バーレーン、フィジー、ミクロネシア、モルディブ	アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ガイアナ、コロンビア、スリナム、セントルシア、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、ペルー	アルバニア、北マケドニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ
合計	36 カ国	29 カ国	27 カ国	7 カ国

³⁰ 複数国を対象とするプロジェクトでは、各国の資金受領額が不明であるため、承認額を対象国数で除して算定した。例えば、FP038 ではブラジルを含め 29 カ国を対象に 265 百万 USD を承認しているが、この場合、 $265 \div 29 = 9.1$ 百万 USD を 29 カ国に割り振って算定した。

³¹ “Portfolio dashboard” (2019 年 8 月 22 日更新) <https://www.greenclimate.fund/what-we-do/portfolio-dashboard>

表 5 国別の GCF プロジェクトの件数及び承認額

※GCF 承認額の多い国順

No	国	GCF プロジェクト件数				GCF 承認額（百万 USD）			
		緩和	緩和・適応	適応	合計	緩和	緩和・適応	適応	合計
1	ブラジル	3	0	0	3	300.6	0	0	300.6
2	モンゴル	4	3	0	7	47.8	193.8	0	241.6
3	エジプト	1	2	1	4	154.7	53.8	31.4	239.9
4	インド	1	1	1	3	100	43.4	34.4	177.8
5	モロッコ	1	3	2	6	9.1	93.1	59	161.2
6	ナイジェリア	3	2	1	6	125.1	23.6	8.7	157.3
7	タンザニア	1	1	1	3	16	16	116.7	148.7
8	南アフリカ	2	2	0	4	109.1	29.9	0	139.1
9	パキスタン	1	0	2	3	49	0	72.5	121.5
10	ベトナム	1	1	0	2	86.3	29.5	0	115.8
11	タジキスタン	0	2	3	5	0	87.8	23.8	111.6
12	カザフスタン	1	0	0	1	110	0	0	110.0
13	インドネシア	2	0	0	2	109.1	0	0	109.1
14	チリ	2	1	0	3	48.1	60	0	108.1
15	アルゼンチン	1	0	0	1	103	0	0	103.0
16	ケニア	4	2	1	7	43.6	28.5	23.2	95.4
17	マダガスカル	2	2	0	4	18.2	69.5	0	87.8
18	ソロモン諸島	0	1	0	1	0	86	0	86.0
19	ブルキナファソ	2	2	1	5	39.3	23.6	22.5	85.3
20	ジョージア	1	2	1	4	9.1	48.8	27.1	85.0
21	バングラデシュ	0	1	2	3	0	20	65	85.0
22	ザンビア	1	0	1	2	52.5	0	32	84.5
23	ナミビア	1	2	4	7	16	29.9	37.7	83.6
24	エクアドル	2	1	0	3	59.8	16	0	75.8
25	グレナダ	2	0	2	4	25.1	0	46.8	71.9
26	マリ	2	1	1	4	41.1	7.5	22.8	71.4
27	アルメニア	1	2	0	3	20	48.8	0	68.8
28	ウガンダ	2	1	2	5	18.2	16	32.8	67.0
29	サモア	0	1	1	2	0	2.4	57.7	60.1
30	ベナン	2	2	1	5	27.6	23.6	9	60.1
31	セネガル	1	1	3	5	9.4	16	34.6	60.0
32	エルサルバドル	1	1	1	3	21.7	35.8	2.2	59.7
33	ヨルダン	1	2	0	3	9.1	48.8	0	57.9
34	モーリシャス	2	1	0	3	37.3	16	0	53.4
35	ブータン	0	1	1	2	0	26.6	25.3	51.9
36	コモロ	1	0	1	2	9.1	0	41.9	51.0
37	チュニジア	0	2	0	2	0	48.8	0	48.8
38	モルドバ	0	2	0	2	0	48.8	0	48.8
39	セルビア	0	2	0	2	0	48.8	0	48.8
40	パラグアイ	1	1	0	2	23	25.1	0	48.1
41	マーシャル諸島	0	1	2	3	0	2.4	43.6	46.0

No	国	GCF プロジェクト件数				GCF 承認額（百万 USD）			
		緩和	緩和・適応	適応	合計	緩和	緩和・適応	適応	合計
42	ルワンダ	0	2	0	2	0	45.3	0	45.3
43	エチオピア	0	0	1	1	0	0	45	45.0
44	グアテマラ	1	1	2	4	9.1	10	24.2	43.4
45	カンボジア	0	1	0	1	0	40	0	40.0
46	コロンビア	0	0	1	1	0	0	38.5	38.5
47	スリランカ	0	0	1	1	0	0	38.1	38.1
48	ホンジュラス	0	1	1	2	0	35	2.2	37.2
49	バルバドス	1	1	0	2	9.1	27.6	0	36.7
50	トーゴ	2	1	0	3	20.7	16	0	36.7
51	ツバル	0	0	1	1	0	0	36	36.0
52	コートジボワール	1	2	0	3	9.1	23.6	0	32.7
53	カメルーン	1	2	0	3	9.1	23.6	0	32.7
54	トンガ	1	1	0	3	29.9	2.4	0	32.3
55	ドミニカ国	2	0	1	2	25.1	0	6.7	31.8
56	フィジー	0	0	1	1	0	0	31	31.0
57	コンゴ民主共和国	2	0	0	2	30.1	0	0	30.1
58	ナウル	0	2	0	2	0	29.3	0	29.3
59	ガーナ	0	1	1	2	0	20	8.7	28.7
60	キリバス	0	1	0	1	0	28.6	0	28.6
61	セントビンセントおよびグレナディーン諸島	2	0	0	2	25.1	0	0	25.1
62	セントクリストファー・ネイビス	2	0	0	2	25.1	0	0	25.1
63	モルディブ	0	0	1	1	0	0	23.6	23.6
64	東ティモール	0	0	1	1	0	0	22.4	22.4
65	マラウイ	1	0	1	2	9.1	0	12.3	21.4
66	ガンビア	0	0	1	1	0	0	20.5	20.5
67	メキシコ	1	1	0	2	9.1	10	0	19.1
68	ニジェール	1	1	0	2	11.6	7.5	0	19.1
69	バヌアツ	0	0	1	1	0	0	18.1	18.1
70	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1	0	0	1	17.3	0	0	17.3
71	ベリーズ	1	0	1	2	9.1	0	8	17.1
72	セントルシア	1	0	0	1	16	0	0	16.0
73	レソト	0	1	0	1	0	13.9	0	13.9
74	エスワティニ	0	1	0	1	0	13.9	0	13.9
75	バブアニューギニア	1	1	0	2	9.1	2.4	0	11.6
76	ギニアビサウ	1	0	0	1	11.6	0	0	11.6
77	コスタリカ	1	0	1	2	9.1	0	2.2	11.4
78	ドミニカ共和国	1	0	1	2	9.1	0	2.2	11.4
79	アルバニア	0	1	0	1	0	11	0	11.0
80	北マケドニア、	0	1	0	1	0	11	0	11.0
81	ウズベキスタン	0	0	1	1	0	0	9.5	9.5
82	赤道ギニア	1	0	0	1	9.1	0	0	9.1
83	バハマ	1	0	0	1	9.1	0	0	9.1
84	スリナム	1	0	0	1	9.1	0	0	9.1
85	ガイアナ	1	0	0	1	9.1	0	0	9.1
86	ハイチ	1	0	0	1	9.1	0	0	9.1

No	国	GCF プロジェクト件数				GCF 承認額（百万 USD）			
		緩和	緩和・適応	適応	合計	緩和	緩和・適応	適応	合計
87	ジブチ	1	0	0	1	9.1	0	0	9.1
88	ブルンジ	1	0	0	1	9.1	0	0	9.1
89	ジンバブエ	0	0	1	1	0	0	8.9	8.9
90	キルギスタン	0	0	1	1	0	0	8.6	8.6
91	ギニア	0	1	0	1	0	7.5	0	7.5
92	チャド	0	1	0	1	0	7.5	0	7.5
93	アンティグアバーブーダ	0	0	1	1	0	0	6.7	6.7
94	バレー	0	1	0	1	0	6.2	0	6.2
95	ミクロネシア（連邦）	0	1	0	1	0	2.4	0	2.4
96	クック諸島	0	1	0	1	0	2.4	0	2.4
97	バーレーン	0	0	1	1	0	0	2.3	2.3
98	パナマ	0	0	1	1	0	0	2.2	2.2
99	ニカラグア	0	0	1	1	0	0	2.2	2.2
合計						2,215.2	1,765.7	1,250.8	5,231.7

※GCF 承認額（百万 USD）の算定方法は脚注 31 参照。計算の過程における小数点の扱いのため承認額の合計が異なる。

4.4 資金の供与方法

GCF 資金は、無償（Grant）、有償（Loan）、保証（Guarantee）及び出資（Equity）、成果払い（Result based payment）及びこれらの組合せで供与される。2019 年 9 月時点での 111 件を供与方法別に分類した（表 6）。有償及び出資のみのプロジェクトはそれぞれ 5 件、1 件と限定的であり、保証のみのプロジェクトは無い。有償のみのプロジェクトはいずれも太陽光や風力といった発電プロジェクトである。出資のみのプロジェクトは FP115 チリでの海洋揚水ダムプロジェクト（三菱 UFJ 銀行が AE）である。また、成果払いは REDD+ プロジェクト（FP100 ブラジル、FP110 エクアドル）にのみ適用されている。資金の供与方法を無償、有償、保証、出資、成果払いで整理すると、無償 45%、有償 42.2%、保証 1.5%、出資 9.1%および成果払い 2.2%である。

表 6 供与方法別の資金額

単位：百万 USD

プロジェクト	件数	無償	有償	保証	出資	成果払い
無償	67	1,815.4	—	—	—	—
有償	5	—	347.7	—	—	—
保証	0	—	—	—	—	—
出資	1	—	—	—	60.0	—
成果払い	2	—	—	—	—	115.1
無償＋有償	28	467.5	1,843.7	—	—	—
無償＋保証	1	11.3	—	75.0	—	—
無償＋出資	5	43.1	—	—	406.4	—
無償＋有償＋保証	1	14.7	9.8	3.2	—	—
無償＋有償＋保証＋出資	1	2.1	5.4	1.5	11.0	—
合計	111	2,354.1	2,206.6	79.7	477.4	115.1
		45.0%	42.2%	1.5%	9.1%	2.2%

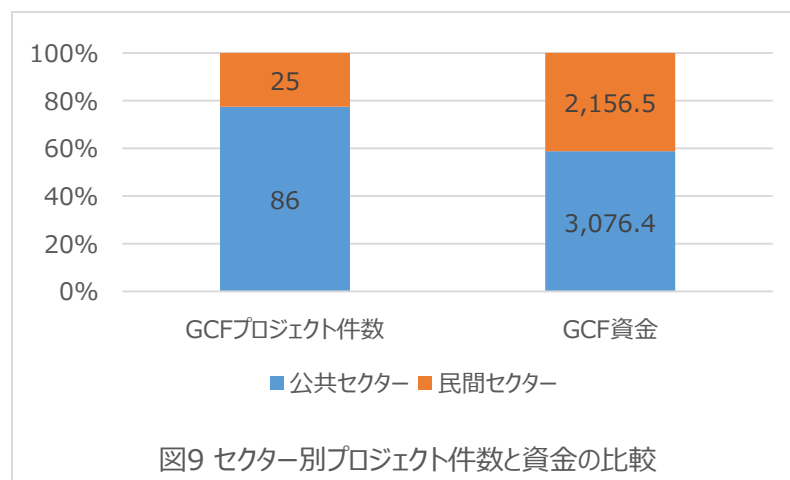
5. GCFプロジェクトのタイプ・規模に関する調査

5.1 セクター別の分類

111 件の GCF プロジェクトを公共セクターと民間セクターで分類すると、公共セクターが 86 件（約 77.5%）、民間セクターが 25 件（約 22.5%）と、公共セクターが多数を占めている。一方、GCF からの資金規模で見ると、公共セクターが 3,076.4 百万 USD（58.8%、1 件あたり平均 35.8 百万 USD）、民間セクターが 2,156.5 百万 USD（41.2%、1 件あたり平均 86.3 百万 USD）であり、民間セクターでのプロジェクト 1 件あたりの平均的な資金供与額の規模は、公共セクターの約 2.4 倍である（図 9）。

公共セクターのプロジェクトは、International AE が 72 件、Direct AE が 14 件を実施している。International AE では UNDP が 24 件と最も多く、Direct AE では Environmental Investment Fund が 4 件と最も多い。

民間セクターのプロジェクトは、International AE が 14 件、Direct AE が 11 件を実施している。International AE では、AfDB、EBRD、IDB の各 3 件が最も多く、Direct AE では南アフリカ開発銀行（DBSA）、XacBank の各 3 件が最も多い。



5.2 プロジェクトタイプ別及び規模別の分類

2019 年 9 月時点で承認されている GCF プロジェクトを「緩和」「緩和 + 適応」「適応」に分類すると（表 7）、緩和 33 件、緩和 + 適応 28 件、適応 50 件である。これらプロジェクトを公共・民間セクターで分類すると、緩和は公共 18 件と民間 15 件、緩和 + 適応は公共 20 件と民間 8 件、適応は公共 48 件と民間 2 件である。規模で見ると、公共セクターは中規模プロジェクトが最も多いが、適応では小規模が最も多い。一方、民間セクターは大規模プロジェクトが最も多いが、適応ではマイクロ、小規模の各 1 件のみである。

表 7 GCF プロジェクトのタイプ別分類

		緩和		緩和+適応		適応	
公共セクター	マイクロ（10 百万 USD 以下）	0	18	1	20	11	48
	小規模（10～50 百万 USD）	5		5		20	
	中規模（50～250 百万 USD）	9		12		16	
	大規模（250 百万 USD 以上）	4		2		1	
民間セクター	マイクロ（10 百万 USD 以下）	0	15	1	8	1	2
	小規模（10～50 百万 USD）	2		2		1	
	中規模（50～250 百万 USD）	6		2		0	
	大規模（250 百万 USD 以上）	7		3		0	
合計		33		28		50	

表 8 に資金規模別と AE 別の実施件数を割合と共に示す。表 9 から、プロジェクトの規模が大きくなるにつれて、International AE の割合が高くなるのがわかる。特に中規模、大規模プロジェクトは 85%以上が International AE による。

表 8 GCF プロジェクトの資金規模及び AE 別の実施件数

総事業費の規模	件数	International AE	Direct AE
マイクロ（10 百万 USD 以下）	14 (12.6%)	6 (42.9%)	8 (57.1%)
小規模（10～50 百万 USD）	35 (31.5%)	25 (71.4%)	10 (28.6%)
中規模（50～250 百万 USD）	45 (40.5%)	39 (86.7%)	6 (13.3%)
大規模（250 百万 USD 以上）	17 (15.3%)	16 (94.1%)	1 (5.9%)
合計	111	86 (77.5%)	25 (22.5%)

プロジェクトタイプ別の資金分配割合で見ると、緩和 42%、緩和・適応 33%、適応 25%となり、緩和 + 適応プロジェクトの資金配分を各 50%と仮定すると、緩和：適応が 58.5：41.5 となり、緩和への資金分配が多い傾向が見られる（表 9）。

表 9 GCF プロジェクトタイプおよび規模別の資金

	緩和	緩和 + 適応	適応
マイクロ（10 百万 USD 以下）	0	31.2	122.1
小規模（10～50 百万 USD）	131.5	219.7	497.1
中規模（50～250 百万 USD）	744.4	560.8	600.5
大規模（250 百万 USD 以上）	1,340	954.6	31
合計(百万 USD)	2,215.9	1766.3	1,250.7
	42%	33%	25%

GCF では緩和及び適応をそれぞれ 4 つの技術分野に分類している。表 10 から表 12 に、緩和、適応、緩和 + 適応プロジェクトを、4 つの技術分野および公共セクターと民間セクターに分類した結果を示す。例えば、FP028（モンゴル）の緩和プロジェクトは、「民間セクター」での「エネルギーアクセス及び発電」かつ「建物、都市、産業及び機器」に分類されていることから、それぞれで 1 件としている。

緩和では、公共セクターのプロジェクトが 4 つの技術分野に分布している一方で民間セクターは「エネルギーアクセス及び発電」分野に集中していることがわかる（表 10）。適応プロジェクトは、その大多数が公共セクターでの「健康、食糧、水の安全保障」、「人々の生計と地域社会」分野を含む案件である。民間セクターの適応プロジェクトは 2 件のみ（FP078、FP097 の中小零細企業支援）である（表

11) 。表 12 は、緩和＋適応プロジェクトに含まれているそれぞれの技術分野を整理したものである。緩和＋適応プロジェクトにおいては、緩和と適応の技術分野の組合せの傾向を把握するため、それぞれの技術分野を含むプロジェクト件数の分布を調査した（表 13）。例えば、緩和分野が「エネルギーアクセスと発電」かつ適応分野が「健康」であるプロジェクトは、それらが交差するセルに計上している。緩和と適応でそれぞれ 2 分野を含む場合は、全ての組合せ（ $2 \times 2 = 4$ ）で該当するセルに計上している。

その結果、緩和のみのプロジェクトでは「森林・土地利用」に該当するプロジェクトが公共セクターでの 3 件（表 10）と少数であるものの、緩和＋適応プロジェクトをみると、緩和として「森林・土地利用」を含むプロジェクトが「エネルギーアクセスと発電」を含むプロジェクトと並び多数を占めていることがわかる。また、「エネルギーアクセスと発電」と「健康・食糧・水の安全保障」「生計と地域社会」を組み合わせたプロジェクトも多く見られる。

表 10 緩和プロジェクトの技術分野別分類

	Energy Access & Generation	Forest and Land Use	Buildings, Cities, Industries and Appliances	Transport
公共セクター	7	3	8	1
民間セクター	15	0	3	0

表 11 適応プロジェクトの技術分野別分類

	Health, Food and Water Security	Ecosystems and Ecosystem Services	Infrastructure and Built Environment	Livelihoods of People and Communities
公共セクター	32	18	18	44
民間セクター	2	1	0	2

表 12 緩和 + 適応プロジェクトの技術分野別分類

緩和	Energy Access & Generation	Forest and Land Use	Buildings, Cities, Industries and Appliances	Transport
公共セクター	9	11	5	3
民間セクター	7	4	3	1
適応	Health, Food and Water Security	Ecosystems and Ecosystem Services	Infrastructure and Built Environment	Livelihoods of People and Communities
公共セクター	10	8	10	17
民間セクター	7	2	3	7

表 13 緩和 + 適応プロジェクトの傾向

適応 緩和	Health, Food and Water Security	Ecosystems and Ecosystem Services	Infrastructure and Built Environment	Livelihoods of People and Communities
Energy Access & Generation	11	5	8	14
Forest and Land Use	10	10	4	14
Buildings, Cities, Industries and Appliances	5	1	7	7
Transport	1	0	4	3

6. GCFプロジェクトによる温室効果ガス排出削減に関する調査

6.1 温室効果ガス排出削減量

GCFでは各ファンディングプロポーザルにおいて、事業実施期間における温室効果ガス（GHG）排出削減総量が推計されている。2019年9月において、緩和および緩和+適応プロジェクトは、各33件、28件の合計61件実施されており、それらプロジェクトによる事業期間中のGHG排出削減総量は、約1,544.4百万トンCO₂eである。その内訳は、緩和プロジェクトで約1,282百万トンCO₂e、緩和+適応プロジェクトで約262.4百万トンCO₂eである。緩和プロジェクトに対して承認された資金は約2,215.9百万USDであることから、単純に算定すると、緩和プロジェクトのGHG削減費用は、約1.7USD / tCO₂e（1USD=107JPYとすると181.9円 / tCO₂e）、緩和+適応プロジェクトでは約6.7USD / tCO₂e（同716.9円 / tCO₂e）となり、緩和+適応プロジェクトのGHG削減費用は緩和プロジェクトと比較して約3.9倍高い。これは緩和+適応プロジェクトにおいては適応の効用が重視されている可能性を示唆している。

表 14 GCF プロジェクトタイプおよび規模別の GHG 排出削減総量

単位：百万トン CO₂e

	緩和	緩和+適応	GHG 排出削減量
マイクロ（10 百万 USD 以下）	0	4.1	4.1
小規模（10～50 百万 USD）	11.1	19.0	30.1
中規模（50～250 百万 USD）	79.7	121.0	200.7
大規模（250 百万 USD 以上）	1191.2	118.3	1,309.5
合計	1,282	262.4	1,544.4

（再掲）表 9 GCF プロジェクトタイプおよび規模別の資金

単位：百万 USD

	緩和	緩和+適応	適応
マイクロ（10 百万 USD 以下）	0	31.2	122.1
小規模（10～50 百万 USD）	131.5	219.7	497.1
中規模（50～250 百万 USD）	744.4	560.8	600.5
大規模（250 百万 USD 以上）	1,340	954.6	31
合計	2,215.9	1766.3	1,250.7

7. GCFプロジェクトによる適応能力の増強に関する調査

7.1 受益者数

GCFでは各ファンディングプロポーザルにおいて、事業実施期間において適応プロジェクトによる受益者数が推計されている。2019年9月において、適応プロジェクトおよび緩和+適応プロジェクトは、各50件、28件の合計78件実施されており、それらプロジェクトによる事業期間中の受益者総数は、約309.8百万人である。その内訳は、適応プロジェクトが約157.3百万人、緩和+適応プロジェクトは約148.7百万人である。適応プロジェクトに対して承認された資金は約1,250.7百万USDであることから、単純に算定すると、適応プロジェクトによる費用対効果は、約8.0USD / 受益者

(1USD=107JPYとすると856.0円 / 受益者)、緩和+適応プロジェクトでは約11.9USD / 受益者(同1,273.3円 / 受益者)となり、緩和+適応プロジェクトの費用対効果は適応プロジェクトと比較して約1.5倍高い。第6章で示したように、GHG排出削減の費用対効果では、緩和+適応プロジェクトは緩和プロジェクトの約3.9倍であったが、適応の観点から見ると約1.5倍まで縮小していることから、緩和+適応プロジェクトにおいては適応の効用が重視されていることを示唆している。ただし、緩和+適応プロジェクトは、緩和又は適応プロジェクトと比較して、いずれにしても費用対効果が低くなっている。

表 15 GCF プロジェクトタイプおよび規模別の受益者数

単位：百万人

	適応	緩和+適応	緩和*	受益者数
マイクロ (10百万USD以下)	21,869,189	15,020,413	0	36,889,602
小規模 (10～50百万USD)	71,334,909	33,093,185	458,558	104,886,652
中規模 (50～250百万USD)	63,823,234	58,287,790	3,418,652	125,529,676
大規模 (250百万USD以上)	290,854	42,254,390	0	42,545,244
合計	157,318,186	148,655,778	3,877,210	309,851,174

*緩和プロジェクトでも受益者数を示しているプロジェクトが複数ある。

(再掲) 表 9 GCF プロジェクトタイプおよび規模別の資金

単位：百万USD

	緩和	緩和+適応	適応
マイクロ(10百万USD以下)	0	31.2	122.1
小規模(10～50百万USD)	131.5	219.7	497.1
中規模(50～250百万USD)	744.4	560.8	600.5
大規模(250百万USD以上)	1,340	954.6	31
合計	2,215.9	1766.3	1,250.7

8. GCF の課題に関する調査³²

8.1 アクセス機関の偏り

GCF 理事会は、GCF 事務局に対して途上国のダイレクトアクセス機関（Regional、National）による申請の促進を要請³³しているが、4.1 章や 5.2 章で述べたように、現在承認されている 111 件のプロジェクトの 77.5%は規模が大きく資金も豊富な国際機関である International AE が進めている。事務局はダイレクトアクセス機関に対するキャパシティビルディング等を実施しているものの、ダイレクトアクセス機関によるプロジェクトは、2018 年に承認された 43 件のプロジェクトのうち 9 件、2019 年度は同 19 件のうち 4 件に留まっていることから、引き続きダイレクトアクセス機関に対するキャパシティビルディングが必要である。

8.2 資金補充（Replenishment）

GCF への資金拠出は、2019 年 9 月時点において、3.1 章で述べたように約 7,923.2 百万 USD が実際に拠出されており、そのうち 4.2 章で述べたように既に 111 件のプロジェクトに対して 5,232.9 百万 USD が承認されている。すなわち、承認額は既に拠出額の 66%に達しており、1,600 百万 USD 相当のプロジェクトをパイプラインに抱えているなかで³⁴、GCF 資金の補充が喫緊の課題となっている。

この課題を受け、GCF では、2018 年 10 月の第 21 回 GCF 委員会から資金補充のための検討を開始しており³⁵、2019 年 4 月にノルウェー、8 月にカナダで資金補充に関する会合を開催している。今後は 9 月の国連気候サミットでの協議を経て、11 月の誓約に関するカンファレンス（Pledging Conference）で各国からの誓約を取り付ける予定をしている³⁶。既にドイツ、ノルウェー、英国、カナダ、フランスは、同国が第 1 期に公表した額の 2 倍の資金（それぞれ 15 億ユーロ、32 億ノルウェークローネ、14.4 億ポンド、3 億カナダドル、15.48 億ユーロ。後者 3 か国は 8 月の G7 で表明。）の拠出を公表しているが、パリ協定の目標を達成するために、追加でどれだけの資金が GCF に必要となるのかが明確でないため、今後各国が公表する補充額や合計拠出額が十分であるのかどうかを検証・評価していく必要がある。

GCF 事務局は 2019 年 6 月に“Strategic Programming for the Green Climate Fund First Replenishment”（脚注 33）を作成し、GCF の活動について「これまでと同程度の活動による貢献」「パリ協定の目標に向けた積極的な貢献」「各国ニーズに応じた影響の最大化への貢献」の 3 つ

³² 本項で示す課題の他にもマネーロンダリング防止対策等の課題が GCF 理事会で継続的に検討されている。

³³ “Report of the Green Climate Fund to the Conference of the Parties”, (FCCC/CP/2018/5), P.24-25

³⁴ “Strategic Programming for the Green Climate Fund First Replenishment” (GCF, 2019 年 6 月), p.2, https://www.greenclimate.fund/documents/20182/1674504/GCF_B.23_Inf.09_-_Strategic_Programming_for_the_Green_Climate_Fund_First_Replenishment.pdf

³⁵ “Raising ambition. Empowering action.” (2019 年 8 月) <https://www.greenclimate.fund/publications/why-an-ambitious-replenishment-of-the-green-climate-fund-matte-1>

³⁶ 2019 年 7 月の第 23 回 GCF 理事会において、補充する資金の対象期間として 2020 年 1 月から 2023 年末までに承認するプロジェクトへの拠出資金を確保することを決定している。“Decisions of the Board –twenty-third meeting of the Board, 6-8 July 2019” (GCF/B.23/23), P.7 https://www.greenclimate.fund/documents/20182/1674504/GCF_B.23_23_-_Decisions_of_the_Board_twenty-third_meeting_of_the_Board_6_8_July_2019.pdf/

のシナリオを分析しているが、理事会による結論は出ていない。資金補充については、シンクタンクや NGO 等も分析しており、単純な各国の倍増或いはドイツやノルウェーの GCF への資金貢献度に他国の貢献レベルを合わせるシナリオにより 225 億 USD～665 億 USD と推計する報告³⁷（現行の約 7,923.2 百万 USD の 2.8～8.4 倍程度）や、GCF の活動の拡大の程度により今後 4 年間で 150 億 USD～220 億 USD 程度（現行の約 7,923.2 百万 USD の 1.9～2.8 倍程度）が必要になる³⁸としている。

8.3 GCF のパフォーマンスの促進

第 21 回 GCF 理事会において、独立評価ユニット（Independent Evaluation Unit: IEU）に GCF のパフォーマンスレビューを依頼し、IEU は 2019 年 6 月に“Forward-Looking Performance Review”を公表している。³⁹ IEU のレビューでは、以下の 4 点に対する改善を推奨している。

- ・ダイレクトアクセス機関による途上国のニーズにより合致したプロジェクトの実施促進
- ・GCF が気候変動政策分野での影響力を強化できるような戦略的な計画の立案
- ・適応の重視性の再認識および民間セクターの役割の強化
- ・GCF 資金へのアクセス等の迅速化のための、GCF における管理と監督の役割の明確化と再検討

³⁷ “How Much Should Countries Contribute to the Green Climate Fund’s Replenishment?” (World Resources Institute, 2019 年 4 月 3 日)
<https://www.wri.org/blog/2019/04/how-much-should-countries-contribute-green-climate-funds-replenishment>

³⁸ “Refilling the Green Climate Fund: Will rich countries’ pledges match expectations?” (2019 年 5 月 13 日)
<https://www.germanclimatefinance.de/2019/05/13/will-pledges-green-climate-fund-match-expectations/>

³⁹ “NEW: IEU Releases Forward-Looking Performance Review of the GCF” (2019 年 7 月 4 日)
<https://ieu.greenclimate.fund/news/new-ieu-releases-forward-looking-performance-review>

9.1 GCFプロジェクト一覧（2019年9月時点）

GCF プロジェクトリスト（エクセルファイル）では、1 つの GCF プロジェクトにおいて緩和や適応のそれぞれで複数の技術分野にまたがるケースがある場合に、行ごとに技術タイプを記入している。そのため、例えば「適応プロジェクト」でフィルターをかけた場合（ピボット分析の場合も同様）に、当該プロジェクトの 1 行目に記入した分野しか表示されない。

[illegible]

GCFプロジェクトリスト (情報源：GCFウェブページ <https://www.greenclimate.fund/what-we-do/projects-programmes>)

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公ノ民	実施期間(年)	完了予定	GCFへのアクセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジェクトタイプ	緩和分類	緩和策キーワード	適応分類	適応策キーワード	GCF資金額(百万USD)	GCF支払い額 (%)	GCF支払い済額 (百万USD)	資金供与方法	総事業費(百万USD)	他の資金調達先	プロジェクト規模	環境社会リスクカテゴリー	ジェンダーベネフィット	SDGsゴール	総GHG削減量(百万tCO2e/事業期間)	受益者数
FP001	Nov.2015	Building the Resilience of Wetlands in the Province of Datem del Marañón, Peru	ペルー	3.中南米・カリブ	1.公	5	Mar.2022	2.Direct	Peruvian Trust Fund for National Parks and Protected Areas (Profonanze)	PROFONANPE (Peru)	3.緩和・適応	2.Forests and land use	湿地管理	4.Livelihoods of people and communities	森林保護による現地コミュニティ強化	6.2	16.4	1.02	1.無償 (グラント)	9.1	2	1.マイクロ	C	1.有り	13.気候変動	2.60	20,413
FP002	Nov.2015	Scaling Up of Modernized Climate Information and Early Warning Systems in Malawi	マラウィ	1.アフリカ	1.公	6	Jun.2023	1.Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	Department of Disaster Management Authority (DoDMA) (Malawi)	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities	早期警戒システム・気候情報システムの充実	12.3	46.4	5.71	1.無償 (グラント)	16.3	2	2.小規模	C	1.有り	15.陸上資源	N/A	2,100,000
FP003	Nov.2015	Increasing Resilience of Ecosystems and Communities through Restoration of the Productive Bases of Salinized Lands	セネガル	1.アフリカ	1.公	4	記載なし	2.Direct	Centre de Suivi Ecologique (CSE)	International Union for Conservation of Nature (IUCN) (Senegal) National Soil Science Institute (INP) (Senegal) Réseau Africain pour le Développement Intégré (RADI) (Senegal)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services 3.Infrastructure and built environment	土地の脱塩化、土地管理、意識向上、塩化地マップ、データベースの作成	7.6	0	0.00	1.無償 (グラント)	8.2	1	1.マイクロ	C	1.有り	15.陸上資源	N/A	129,800
FP004	Nov.2015	Climate-Resilient Infrastructure Mainstreaming in Bangladesh	バングラデシュ	2.アジア太平洋	1.公	6	Mar.2024	1.Internl.	Kreditanstalt für Wiederaufbau (KfW)	Local Government Engineering Department of Bangladesh (Bangladesh)	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	サイクロンシェルターの設置、幹線道路へのアクセス確保、気候変動対応インフラに関する情報センターの設置	40	0.4	0.16	1.無償 (グラント)	80	2	3.中規模	B	1.有り	11.都市	N/A	10,534,350
FP005	Nov.2015	KawiSafi Ventures Fund in East Africa	ルワンダ、ケニア	1.アフリカ	2.民	5	Aug. 2021	2.Direct	Acumen Fund, Inc. (Acumen)	Acumen Capital Partners LLC (United States)	3.緩和・適応	1.Energy access & generation	無電化家庭へのオフグリッドPV設置	4.Livelihoods of people and communities	低炭素電源へのアクセス	25(5:無償)	32.6	8.15	7.無償&出資	110	3	1.マイクロ	C	1.有り	7.エネルギー	1.50	15,000,000
FP006 (辞退)	辞退	Energy Efficiency Green Bonds in Latin America and the Caribbean	メキシコ	3.中南米・カリブ	2.民	6	記載なし	1.Internl.	Inter-American Development Bank (IDB)	Inter-American Development Bank (IDB) (United States)	1.緩和	3.Buildings, cities, industries and appliances	ダイヤモンドエネルギー効率、グリーンボンド	5.N/A	N/A	22(2:無償)	0	0.00	6.無償&保証	184.5	4	3.中規模	C	1.有り	7.エネルギー	2.6 (失効)	N/A
FP007	Nov.2015	Support of Vulnerable Communities in Maldives to Manage Climate Change-Induced Water Shortages	モルディブ	2.アジア太平洋	1.公	5	Mar.2022	1.Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	Maldives Ministry of Environment & Energy (Maldiv)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security	海水淡水化、地下水等による淡水供給能力強化	23.6	64.1	15.13	1.無償 (グラント)	28.2	2	2.小規模	B	1.有り	6.水・衛生	N/A	105,000
FP008	Nov.2015	Fiji Urban Water Supply and Wastewater Management Project	フィジー	2.アジア太平洋	1.公	7	Jan.2025	1.Internl.	Asian Development Bank (ADB)	Fiji Ministry of Finance (Fiji)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services 3.Infrastructure and built environment	上下水システムの改良、河川取水施設の建設、排水処理施設の改善	31	14.5	4.50	1.無償 (グラント)	405.1	4	4.大規模	B	1.有り	6.水・衛生	N/A	290,854
FP009	Jun.2016	Energy savings insurance for private energy efficiency investments by Small and Medium-Sized Enterprises	エルサルバドル	3.中南米・カリブ	1.公	5	記載なし	1.Internl.	Inter-American Development Bank (IDB)	BANDESAL (El Salvador)	1.緩和	3.Buildings, cities, industries and appliances	SRMのエネルギー空調・冷凍・ボイラーの更新、エネルギーサービス市場の創出	5.N/A	N/A	21.7(1.7:無償)	0	0.00	5.無償&有償	41.7	1	2.小規模	A	1.有り	9.イノベーション	0.56	N/A
FP010	Jun.2016	De-risking and scaling-up investment in energy efficient building retrofits in Armenia	アルメニア	4.東欧	1.公	6	Jun.2023	1.Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Nature Protection (Armenia)	1.緩和	3.Buildings, cities, industries and appliances	建物のエネルギー効率改善市場と雇用の創出、暖房用途の化石燃料消費削減	5.N/A	N/A	20	11.7	2.34	1.無償 (グラント)	29.8	3	2.小規模	C	2.記載無し	9.イノベーション	1.40	210,000
FP011	Jun.2016	Large-scale Ecosystem-based Adaptation in the Gambia River Basin: developing a climate resilient, natural resource based economy	ガンビア	1.アフリカ	1.公	6	Aug.2023	1.Internl.	United Nations Environment Programme (UNEP)	Ministry of Environment, Climate Change, Water, Forests and Wildlife (Gambia)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	森林・農地回復、エコシステムベースアダプテーション	20.5	29	5.95	1.無償 (グラント)	25.5	1	2.小規模	C	1.有り	11.都市	N/A	57,750
FP012	Jun.2016	Africa Hydromet Program - Strengthening Climate Resilience in Sub-Saharan Africa: Mali Country Project	マリ	1.アフリカ	1.公	4	Jul.2021	1.Internl.	International Bank for Reconstruction and Development and International Development Association	General Directorate of Civil Protection (DGPC) (Mali)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	早期警戒システム・気候情報システムの充実	22.8	0	0.00	1.無償 (グラント)	27.3	2	2.小規模	B	1.有り	11.都市	N/A	5,300,000

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公/民	実施期間(年)	完了予定	GCFへのアクセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジェクトタイプ	緩和分類	緩和策キーワード	適応分類	適応策キーワード	GCF資金額(百万USD)	GCF支払い済額(%)	GCF支払い済額(百万USD)	資金供与方法	総事業費(百万USD)	他の資金調達先	プロジェクト規模	環境社会リスクカテゴリー	ジェンダーベネフィット	SDGsゴール	総GHG削減量(百万tCO2e/事業期間)	受益者数
FP013	Jun.2016	Improving the resilience of vulnerable coastal communities to climate change related impacts in Viet Nam	ベトナム	2.アジア太平洋	1.公	5	Jul.2022	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Agriculture and Rural Development (Viet Nam)	3.緩和・適応	2.Forests and land use	マングローブ林の回復	4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services 3.Infrastructure and built environment	沿岸防護、沿岸コミュニティの防災対策、マングローブ林の回復、沿岸の影響評価	29.5	40.4	58.71	1.無償(グラント)	40.5	3	2.小規模	B	2.記載無し	11.都市	1.90	30,020,000
FP014	Jun.2016	Climate Adaptation and Mitigation Program for the Aral Sea Basin (CAMP4ASB)	タジキスタン、ウズベキスタン	2.アジア太平洋	1.公	6	記載なし	1.Internal	International Bank for Reconstruction and Development and International Development Association (World Bank)	Executive Committee for International Fund for Saving the Aral Sea	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	アラル海沿岸の脆弱な人々の適応能力強化(農作物の多様化、水資源管理、荒廃地の回復、環境保全型農業、家畜生産性の改善農産品加工、エネルギー効率、再生エネルギーの拡大)	19	0	0.00	1.無償(グラント)	68.8	2	3.中規模	B	1.有り	11.都市	N/A	205,000
FP015	Jun.2016	Tuvalu Coastal Adaptation Project	ツバル	2.アジア太平洋	1.公	7	Jun.2024	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	UNDP	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	海面上昇対策(沿岸保護、養殖、護岸、防災堤防)、沿岸管理能力の強化	36	18.6	6.70	1.無償(グラント)	38.9	1	2.小規模	B	1.有り	9.イノベーション	N/A	6,599
FP016	Jun.2016	Strengthening the resilience of smallholder farmers in the Dry Zone to climate variability and extreme events through an integrated approach to water management	スリランカ	2.アジア太平洋	1.公	7	Jun.2024	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Mahaweli Development and Environment (MMDE) of Sri Lanka (Sri Lanka)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	応能力強化(コミュニティの灌漑システム改善、分散型飲料水供給システムの拡大、早期警報システムの強化、洪水対策、水管理)	38.1	29.3	11.16	1.無償(グラント)	52.1	1	3.中規模	B	1.有り	6.水・衛生	N/A	1,950,374
FP017	Jun.2016	Climate Action and Solar Energy Development Programme in the Tarapacá Region in Chile	チリ	3.中南米・カリブ	2.民	記載なし	記載なし	2.Direct	Corporación Andina de Fomento (CAF)	Atacama Solar S.A (Chile)	1.緩和	1.Energy access & generation	143MWソーラーパーク	5.N/A	N/A	39	0	0.00	2.有償(ローン)	181	3	3.中規模	B	1.有り	7.エネルギー	3.70	N/A
FP018	Oct.2016	Scaling-up of Glacial Lake Outburst Flood (GLOF) risk reduction in Northern Pakistan	パキスタン	2.アジア太平洋	1.公	5	Jul.2022	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Climate Change (Pakistan)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	氷河湖の決壊対策(ダム、貯水池、放水路、植林、排水路の建設)、災害対策政策、気象モニタリングステーション、洪水グレープ、水文モデル、早期警報システム	37.5	28.4	10.65	1.無償(グラント)	37.5	1	2.小規模	B	1.有り	9.イノベーション	N/A	29,233,000
FP019	Oct.2016	Priming Financial and Land-Use Planning Instruments to Reduce Emissions from Deforestation	エクアドル	3.中南米・カリブ	1.公	5	May.2022	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Environment (Ecuador)	1.緩和	2.Forests and land use	土地利用計画、森林保護政策(持続可能な農業支援、REDDへの税優遇)	5.N/A	N/A	41.2	45.2	18.62	1.無償(グラント)	84	5	3.中規模	B	1.有り	15.陸上資源	15.00	450,000
FP020	Oct.2016	Sustainable Energy Facility for the Eastern Caribbean	ドミニカ、グレナダ、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、セントビンセントおよびグレナダ連邦	3.中南米・カリブ	1.公	8	記載なし	1.Internal	Inter-American Development Bank (IDB)	Caribbean Development Bank (CDB)	1.緩和	1.Energy access & generation	地熱発電所の開発、地熱発電に関する法・規制の強化	5.N/A	N/A	80(20:無償)	0	0.00	5.無償&有償	190.5	8	3.中規模	A	2.記載無し	7.エネルギー	9.40	481,652
FP021	Oct.2016	Senegal Integrated Urban Flood Management Project	セネガル	1.アフリカ	1.公	5	記載なし	1.Internal	Agence Française de Développement (AFD)	Ministry of Urban Renewal, Housing and Living Environment (Senegal) Senegal National Office for Sanitation (ONAS) (Senegal) National Agency for Civil Aviation and Meteorology (ANACIM) (Senegal) Directorate for Water Resource Planning and Management (DGPRES) (Senegal) Investment Promotion and Large Projects Agency (APIX) (Senegal)	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	都市部の洪水対策、洪水リスクマップ作成、洪水リスク対策評価、災害モニタリング、災害管理プロトコルの開発	17	13.3	2.26	1.無償(グラント)	80.7	2	3.中規模	A	1.有り	9.イノベーション	N/A	2,200,000

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公／民	実施期間 (年)	完了予定	GCFへのア クセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジ ェクト タイプ	緩和分類	緩和策キー ワード	適応分類	適応策キー ワード	GCF資金額 (百万USD)	GCF支払い 済額 (%)	GCF支払い 済額 (百万 USD)	資金供与方 法	総事業費 (百万USD)	他の資金 調達先	プロジ ェクト 規模	環境社会 リスクカテ ゴリー	ジェンダー ベネフィット	SDGs ゴール	総GHG削減 量 (百万tCO2e ／事業期間)	受益者数
FP022	Oct. 2016	Development of Argan orchards in Degraded Environment - DARED	モロッコ	1.アフリ カ	1.公	5	Jun. 2022	2.Direct	Agency for Agricultural Development of Morocco (ADA)	National Agency for the Development of Oases and Argan Zones (ANDZOA) (Morocco)	3.緩和・ 適応	2. Forests and land use	アルガンの植林	4. Livelihoods of people and communities	アルガンの植林による土壌保護・雨水採取能力の強化、持続可能な森林管理による地方の生計改善	39.3	25.9	10.18	1.無償 (グラント)	49.2	3	2.小規模	B	1.有り	11.都市	0.60	26,000
FP023	Oct. 2016	Climate Resilient Agriculture in three of the Vulnerable Extreme northern crop-growing regions (CRAVE)	ナミビア	1.アフリ カ	1.公	5	Mar. 2022	2.Direct	Environmenta l Investment Fund (EIF)	Ministry of Agriculture, Water and Forestry (MAWF) (Namibia)	2.適応	5. N/A	N/A	1. Health, food and water security 4. Livelihoods of people and communities	気候保全型農業・マイクロドリップ型灌漑の拡大、農業センターの設置、農家への再生エネルギーの供給	9.5	71.1	6.75	1.無償 (グラント)	10	1	1.マイクロ	C	1.有り	11.都市	N/A	21,000
FP024	Oct. 2016	Empower to adapt: creating climate-change resilient livelihoods through community-based natural resource management in Namibia	ナミビア	1.アフリ カ	1.公	5	May. 2022	2.Direct	Environmenta l Investment Fund (EIF)	Communar Conservancies Community Forests MET Support organizations e.g. Namibian Association of CBNRM Support Organizations (NACSO)	2.適応	5. N/A	N/A	1. Health, food and water security 4. Livelihoods of people and communities 2. Ecosystems and ecosystem services	コミュニティベースでの自然資源管理に関する組織の強化、NGOや大学による地方の適応能力強化支援、基金の創設	10	76.6	7.66	1.無償 (グラント)	10	0	1.マイクロ	C	1.有り	11.都市	N/A	76,500
FP025	Oct. 2016	GCF-EBRD Sustainable Energy Financing Facilities	アルメニア、エジプト、ジョージア、ヨルダン、モルコ、モルドバ、セルビア、タジキスタン、チュニジア	4.東欧	2.民	15	Feb. 2033	1. Internl.	European Bank for Reconstruction and Development (EBRD)	EBRD's SEFF team SEFF implementation teams Participating financial institutions (PFIs)	3.緩和・ 適応	1. Energy access & generation	中小企業や家庭の持続可能なエネルギー導入に対する民間金融の強化、産業、商業、民生、交通、農業分野における民間の気候資金の強化	1. Health, food and water security	産業、商業、民生、交通、農業分野における民間の気候資金の強化、民間金融や中小企業の能力強化・事業評価・モニタリング・ジェンダーに関する活動	378(無償:34)	23.5	88.83	5.無償&有償	1,400	2	4.大規模	B	1.有り	7.エネルギー	27.50	72,840
				3. Buildings, cities, industries and appliances								3. Infrastructure and built environment															
				2.アジア太平洋																							
FP026	Oct. 2016	Sustainable Landscapes in Eastern Madagascar	マダガスカル	1.アフリ カ	2.民	10	記載なし	1. Internl.	Conservation International Foundation (CI) European Investment Bank (EIB)	Conservation International Madagascar Program (CIM) (Madagascar) Bureau National de Coordination des Changements Climatiques (BNCCC) (Madagascar) Althelia Climate Fund GP Sarl (Althelia)	3.緩和・ 適応	1. Energy access & generation 2. Forests and land use	小規模農家の再生エネルギーに関する民間投資資金へのアクセス改善	4. Livelihoods of people and communities 2. Ecosystems and ecosystem services	小規模農家の民間投資資金へのアクセス改善	53.5(18.5:無償)	4.5	2.41	7.無償&出資	69.8	4	2.小規模	B	1.有り	7.エネルギー	10.00	1,562,000
FP027	Oct. 2016	Universal Green Energy Access Programme	ベナン、ケニア、ナミビア、ナイジェリア、タンザニア	1.アフリ カ	2.民	15	記載なし	1. Internl.	Deutsche Bank AktienGesellschaft (Deutsche Bank AG)	The Universal Green Energy Access Program S.A.SIC-SICAV	1.緩和	1. Energy access & generation	サブサハラでの分散型エネルギー・再生エネルギー (SHS、ミニグリッド等) への投資ファンド	5. N/A	N/A	80 (1.6:無償)	0	0.00	7.無償&出資	301.6	3	4.大規模	B	2.記載無し	7.エネルギー	50.60	N/A
FP028	Dec. 2016	Business loan programme for GHG emissions reduction	モンゴル	2.アジア 太平洋	2.民	5	Jun. 2022	2.Direct	XacBank LLC (XacBank)	XACBank LLC	1.緩和	1. Energy access & generation 3. Buildings, cities, industries and appliances	モンゴルのSMEsでの省エネ・再生エネルギー投資促進のためのローンプログラム	5. N/A	N/A	20 (0.5:無償)	100	20.00	5.無償&有償	60	3	3.中規模	B	1.有り	7.エネルギー	1.20	N/A
FP029 (辞退)	辞退	SCF Capital Solutions	南アフリカ	1.アフリ カ	2.民	10	April. 2018	2.Direct	Development Bank of Southern Africa (DBSA)	SCF Capital Solutions	1.緩和	1. Energy access & generation 3. Buildings, cities, industries and appliances	省エネ・再生エネルギーに関するスタートアップ企業支援プログラム	5. N/A	N/A	12.2	0	0.00	4.出資 (エクイティ)	34.1	4	2.小規模	B	1.有り	7.エネルギー	33 (失効)	N/A
FP030 (辞退)	辞退	Catalyzing private investment in sustainable energy in Argentina - Part 1	アルゼンチン	3.中南 米・カリブ	2.民	4	Withdrawn	1. Internl.	Inter-American Development Bank (IDB)	Inter-American Development Bank Inter-American Investment Corporation	1.緩和	1. Energy access & generation	再生エネルギープロジェクトへの投資プログラム	5. N/A	N/A	133(3:無償)	0	0.00	5.無償&有償	653	4	4.大規模	B	1.有り	7.エネルギー	15.3 (失効)	N/A
FP031 無し																											
FP032 無し																											
FP033	Dec. 2016	Accelerating the Transformational Shift to a Low-Carbon Economy in the Republic of Mauritius	モーリシャス	1.アフリ カ	1.公	6	Jul. 2023	1. Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Finance and Economic Development (MAURITIUS)	1.緩和	1. Energy access & generation	本島での再生エネルギー、離島でのPVMニグリッド	5. N/A	N/A	28.2	25.5	7.19	1.無償 (グラント)	191.4	3	3.中規模	B	1.有り	7.エネルギー	4.30	N/A
FP034	Dec. 2016	Building Resilient Communities, Wetlands Ecosystems and Associated Catchments in Uganda	ウガンダ	1.アフリ カ	1.公	8	Jun. 2025	1. Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministries of Water and Environment, Agriculture, Animal Industry and Fisheries (UGANDA) Uganda National	2.適応	5. N/A	N/A	4. Livelihoods of people and communities 2. Ecosystems and ecosystem services	湿地の回復、漁業・農業従事者の生計の強化・多様化、防災能力強化 (早期警報等)	24.1	18.2	4.39	1.無償 (グラント)	44.3	2	2.小規模	B	1.有り	15.陸上資源	N/A	4,800,000

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公/民	実施期間(年)	完了予定	GCFへのアクセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジェクトタイプ	緩和分類	緩和キーワード	適応分類	適応キーワード	GCF資金額(百万USD)	GCF支払い済額(%)	GCF支払い済額(百万USD)	資金供与方法	総事業費(百万USD)	他の資金調達先	プロジェクト規模	環境社会リスクカテゴリー	ジェンダーベネフィット	SDGsゴール	総GHG削減量(百万tCO2e/事業期間)	受益者数
FP035	Dec.2016	Climate Information Services for Resilient Development in Vanuatu	バヌアツ	2.アジア太平洋	1.公	4	Jan.2022	2.Direct	Secretariat of the Pacific Regional Environment Programme (SPREP)	SPREP Government of Vanuatu through the Vanuatu Meteorological & Geohazard Department (VANUATU)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services 3.Infrastructure and built environment	観光・農業・インフラ・水管理・漁業分野での気候情報サービスの拡充、情報取扱い能力の強化	18.1	1.6	0.29	1.無償(グラント)	21.8	2	2.小規模	C	1.有り	15.陸上資源	N/A	260,700
FP036	Dec.2016	Pacific Islands Renewable Energy Investment Program	クック諸島、マーシャル諸島、ミクロネシア(連邦)ナウル、パプアニューギニア、サモア、トンガ	2.アジア太平洋	1.公	7	記載なし	1.Internal	Asian Development Bank (ADB)	Te Aponga Uira and Cook Islands Asian Development Bank	3.緩和・適応	1.Energy access & generation	再エネプロジェクトのFCS、発電設備の改修、IPP事業の促進	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	ディーゼル燃料から再エネへの転換によるエネルギー安全保障の促進	17	28.8	4.90	1.無償(グラント)	26	2	2.小規模	B	1.有り	7.エネルギー	3.00	580,000
FP037	Dec.2016	Integrated Flood Management to Enhance Climate Resilience of the Vaisigano River Catchment in Samoa	サモア	2.アジア太平洋	1.公	6	July. 2023	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Finance SAMOA	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment		57.7	21	12.12	1.無償(グラント)	65.7	1	3.中規模	B	1.有り	9.イノベーション	N/A	34,000
FP038	Apr.2017	Geeref Next	バハマ、バルバドス、ベリーズ、ブラジル、チリ、コモロ、コスタリカ、ゴートラヴール、コンゴ民主共和国、ドミニカ共和国、赤道ギニア、ジョージア、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ヨルダン、ケニア、マダガスカル、モリシヤス、メキシコ、パプアニューギニア、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセントおよびグレナディーン諸島、南アフリカ、スリナム、トーゴ、ウガンダ	1.アフリカ 2.アジア太平洋 3.中南米・カリブ 4.東欧	2.民	5	記載なし	1.Internal	European Investment Bank (EIB)	GEEREF NeXt Specialised funds selected	1.緩和	1.Energy access & generation 3.Buildings, cities, industries and appliances	世界規模での再エネ・省エネ事業への投資ファンド、アンカーインベスター、投資ファンドのリスクヘッジ	5.N/A	N/A	265 (15:無償)	0	0.00	7.無償&出資	765	2	4.大規模	B	2.記載無し	7.エネルギー	769.00	N/A
FP039	Apr.2017	Egypt Renewable Energy Financing Framework	エジプト	1.アフリカ	2.民	5	Sept.2022	1.Internal	European Bank for Reconstruction and Development (EBRD)	The European Bank for Reconstruction and Development (EBRD)	1.緩和	1.Energy access & generation	再エネ事業の統合・政策・計画の促進、再エネ事業への投資拡大	5.N/A	N/A	154.7 (4.7:無償)	45.1	69.77	5.無償&有償	1000	4	4.大規模	B	1.有り	7.エネルギー	18.90	N/A
FP040	Apr.2017	Tajikistan: Scaling Up Hydropower Sector Climate Resilience	タジキスタン	2.アジア太平洋	1.公	5	Apr.2023	1.Internal	European Bank for Reconstruction and Development (EBRD)	Republic of Tajikistan represented by the Ministry of Finance (TAJIKISTAN)	3.緩和・適応	1.Energy access & generation	ダム運営者の気候リスク管理・評価能力強化、カスケード配置ダムの効率的な管理能力強化	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	ダム設備のリバリティによる気候変動適応能力の付加	50 (23:無償)	10	5.00	5.無償&有償	133	3	3.中規模	B	2.記載無し	7.エネルギー	7.50	11,000,000
FP041	Apr.2017	Simiyu Climate Resilient Development Programme	タンザニア	1.アフリカ	1.公	5	記載なし	1.Internal	Kreditanstalt für Wiederaufbau (KfW)	Ministry of Finance and Planning (UNITED REPUBLIC OF TANZANIA)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services 3.Infrastructure and built environment	コミュニティベースでの適応能力強化、水供給インフラ・公衆衛生サービスの強化、農業活動の改善	116.7	0	0.00	1.無償(グラント)	163	4	3.中規模	A	2.記載無し	6.水・衛生	N/A	2,995,000

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公／民	実施期間(年)	完了予定	GCFへのアクセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジェクトタイプ	緩和分類	緩和策キーワード	適応分類	適応策キーワード	GCF資金額(百万USD)	GCF支払い済額(%)	GCF支払い済額(百万USD)	資金供与方法	総事業費(百万USD)	他の資金調達先	プロジェクト規模	環境社会リスクカテゴリ	ジェンダーベネフィット	SDGsゴール	総GHG削減量(百万tCO2e／事業期間)	受益者数	
FP056	Oct.2017	Scaling Up Climate Resilient Water Management Practices for Vulnerable Communities in La Mojana	コロンビア	3.中南米・カリブ	1.公	8		記載なし	1.Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	National Adaptation Fund of Colombia (COLOMBIA)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 2.Ecosystems and ecosystem services	水資源管理能力の強化、水資源インフラの促進、生態系の回復、早期警報システムの改善、地方の生計強化	38.5	20.8	8.01	1.無償(グラント)	117.2	9	3.中規模	B	2.記載無し	6.水・衛生	N/A	405,625
FP057	無し																											
FP058	Oct.2017	Responding to the Increasing Risk of Drought: Building Gender-responsive Resilience of the Most Vulnerable Communities	エチオピア	1.アフリカ	1.公	5		記載なし	2.Direct	Ministry of Finance and Economic Cooperation of the Federal Democratic Republic of Ethiopia (MOFEC)	Ministry of Agriculture and Natural Resources (MoANR) (Ethiopia) Ministry of Water, Irrigation and Electricity (MoWIE) (Ethiopia)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	太陽光発電灌漑ポンプの導入、水資源近隣荒廃地のリハビリと管理、意識向上	45	8.3	3.74	1.無償(グラント)	50	1	2.小規模	B	2.記載無し	6.水・衛生	N/A	1,320,000
FP059	Mar.2018	Climate-Resilient Water Sector in Grenada (G-CREWS)	グレナダ	3.中南米・カリブ	1.公	6		記載なし	1.Internl.	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (GIZ) GmbH (GIZ)	Ministry of Finance, Energy, Economic Development, Planning and Trade (MoFE) (GRENADA) Grenada Development Bank (GDB) (GRENADA) Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (GIZ)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	農業・観光業セクターでの水利用効率改善促進、貯水能力向上、新規井戸の掘削、雨水捕集システムの導入	40.1	0	0.00	1.無償(グラント)	47.8	2	2.小規模	B	2.記載無し	18.記載なし	N/A	107,317
FP060	Mar.2018	Water Sector Resilience Nexus for Sustainability in Barbados (WSRN S-Barbados)	バルバドス	3.中南米・カリブ	1.公	5.25		記載なし	2.Direct	Caribbean Community Climate Change Centre (CCCCC) Barbados Water Authority (BWA)	Climate Change Centre (CCCCC) Barbados Water Authority (BWA)	3.緩和・適応	1.Energy access & generation	太陽光発電による水供給ポンプの整備	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	水分野マスタープラン策定、浄化促進、無収水量の低減、水管理の改善、意識向上	27.6	18.1	5.00	1.無償(グラント)	45.2	1	2.小規模	B	2.記載無し	18.記載なし	0.2	473998
FP061	Mar.2018	Integrated physical adaptation and community resilience through an enhanced direct access pilot in the public, private, and civil society sectors of three Eastern Caribbean small island developing states	アンティグアバーブーダ、ドミニカ、グレナダ	3.中南米・カリブ	1.公	4		記載なし	2.Direct	Department of Environment of Antigua and Barbuda (DOE)	Department of Environment (ANTIGUA AND BARBUDA) Ministry with Responsibility for Environment (DOMINICA) Ministry with	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services 3.Infrastructure and built environment	家庭・コミュニティ、企業のバケーション対策促進、排水・汚濁インフラの改善、土壌・水資源保護のための生態系の修復	20	0	0.00	1.無償(グラント)	20	0	2.小規模	B	2.記載無し	18.記載なし	N/A	82,200
FP062	Mar.2018	Poverty, Reforestation, Energy and Climate Change Project (PROEZA)	パラグアイ	3.中南米・カリブ	1.公	5		記載なし	1.Internl.	Food and Agriculture Organization of the United Nations	Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO)	3.緩和・適応	1.Energy access & generation 2.Forests and land use	バイオマス発電・木材用・シルボパシカル生産向けプランテーション、アグロフォレストリー	4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	アグロフォレストリーの促進、ガバナンスと法順守の能力強化	25.1	0	0.00	1.無償(グラント)	90.3	2	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	7.90	807,210
FP063	Mar.2018	Promoting private sector investments in energy efficiency in the industrial sector in Paraguay	パラグアイ	3.中南米・カリブ	1.公	5		記載なし	1.Internl.	Agencia Financiera de Desarrollo (AFD)	Inter-American Development Bank (IDB)	1.緩和	3.Buildings, cities, industries and appliances	SMEsのエネルギー効率化促進、再生エネルギー利用促進	5.N/A	N/A	23 (3:無償)	13	2.99	5.無償&有償	43	1	2.小規模	C	2.記載無し	18.記載なし	4.00	N/A
FP064	Mar.2018	Promoting risk mitigation instruments and finance for renewable energy and energy efficiency investments	アルゼンチン	3.中南米・カリブ	1.公	5		記載なし	1.Internl.	Inter-American Development Bank (IDB)	Inter-American Development Bank (IDB)	1.緩和	1.Energy access & generation 3.Buildings, cities, industries and appliances	SMEsのバイオガス・バイオマス・エネルギー効率促進	5.N/A	N/A	103 (3:無償)	2.9	2.99	5.無償&有償	163.9	3	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	9.10	N/A
FP065	Mar.2018	Financial Instruments for Brazil Energy Efficient Cities (FinBRAZEEC)	ブラジル	3.中南米・カリブ	1.公	7		記載なし	1.Internl.	International Bank for Reconstruction and Development and International Development Association (World Bank)	Executing Entity CAIXA Econômica Federal (CEF)	1.緩和	3.Buildings, cities, industries and appliances	全国規模でのエネルギー効率改善、街路灯	5.N/A	N/A	195 (9:無償)	0	0.00	5.無償&有償	1300	5	4.大規模	B	2.記載無し	18.記載なし	17.40	N/A
FP066	Mar.2018	Pacific Resilience Project Phase II for the Republic of the Marshall Islands	マーシャル諸島	2.アジア太平洋	1.公	5.17		記載なし	1.Internl.	International Bank for Reconstruction and Development and International Development Association	Ministry of Finance (MARSHALL ISLANDS) Ministry of Public Works (MARSHALL ISLANDS)	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	沿岸インフラ対策、制度の強化、早期警報システム、防災準備	25	0	0.00	1.無償(グラント)	44.1	1	2.小規模	B	2.記載無し	18.記載なし	N/A	39,800
FP067	Mar.2018	Building climate resilience of vulnerable and food insecure communities through capacity strengthening and livelihood diversification in mountainous regions of Tajikistan	タジキスタン	2.アジア太平洋	1.公	4		記載なし	1.Internl.	World Food Programme (WFP)	Committee for Environmental Protection (TAJIKISTAN) World Food Programme (WFP)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	気候情報サービスの構築、キャパシティビルディング、持続可能な水管理、回復力のある農林業	9.3	0	0.00	1.無償(グラント)	10	2	1.マイクロ	C	2.記載無し	18.記載なし	N/A	120,000

[illegible]

[illegible]

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公/民	実施期間(年)	完了予定	GCFへのアクセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジェクトタイプ	緩和分類	緩和策キーワード	適応分類	適応策キーワード	GCF資金額(百万USD)	GCF支払い済額(%)	GCF支払い済額(百万USD)	資金供与方法	総事業費(百万USD)	他の資金調達先	プロジェクト規模	環境社会リスクカテゴリー	ジェンダー・ベネフィット	SDGsゴール	総GHG削減量(百万tCO2e/事業期間)	受益者数
FP089	Oct. 2018	Upscaling climate resilience measures in the dry corridor agroecosystems of El Salvador (RECLIMA)	エルサルバドル	3.中南米・カリブ	1.公	5	記載なし	1.Internal	Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO)	Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO) Ministry of Agriculture and Livestock (MAG) (EL SALVADOR) Ministry of the Environment and Natural Resources (MARN) (EL SALVADOR) Initiative for the Americas Fund (FIAES)	3.緩和・適応	2.Forests and land use	生態系の回復、植林	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	生態系の回復による水資源へのアクセス改善、自然資源管理能力の強化	35.8	0	0.00	1.無償(グラント)	127.7	3	3.中規模	B	2.記載無し	1.貧困 2.飢餓 6.水・衛生 13.気候変動 14.海洋資源 15.陸上資源	4.20	1,289,618
FP090	Oct. 2018	Tonga Renewable Energy Project under the Pacific Islands Renewable Energy Investment Program	トンガ	2.アジア太平洋	1.公	3.417	記載なし	1.Internal	Asian Development Bank (ADB)	Ministry of Finance and National Planning (MFPNP) (TONGA) Ministry of Meteorology, Energy, Information, Disaster Management, Climate Change and Communications (MEIDCCC) (TONGA)	1.緩和	1.Energy access & generation	再生可能エネルギー電力の安定供給を促進するための蓄電池システムの整備、離島でのミニグリッドの整備	5.N/A	N/A	29.9	0	0.00	1.無償(グラント)	53.2	4	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	0.34	96,000
FP091	Oct. 2018	South Tarawa Water Supply Project	キリバス	2.アジア太平洋	1.公	6	記載なし	1.Internal	Asian Development Bank (ADB)	Ministry of Finance and Economic Development (KIRIBATI)	3.緩和・適応	3.Buildings, cities, industries and appliances	海水淡水化施設での太陽光発電の整備	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	海水淡水化施設による水供給システムの構築	28.6	0	0.00	1.無償(グラント)	58.1	3	3.中規模	B	2.記載無し	6.水・衛生	0.09	62,298
FP092	Oct. 2018	Programme for Integrated Development and Adaptation to Climate Change in the Niger Basin (PIDACC/NB)	ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、チャド、コートジボワール、ギニア、マリ、ニジェール、ナイジェリア	1.アフリカ	1.公	6	記載なし	1.Internal	African Development Bank (AfDB)	Executive Secretary of Niger Basin Authority (NBA) Ministers in charge of water resources of the nine countries	3.緩和・適応	2.Forests and land use	植林や土地利用の改善	1.Health, food and water security 2.Ecosystems and ecosystem services	ニジェール川に沈着するシルト対策による水供給の改善、自然資源管理能力の改善	67.8 (57.8:無償)	0	0.00	5.無償と有償	209.9	7	3.中規模	A	2.記載無し	18.記載なし	7.00	14,000,000
FP093	Oct. 2018	Yeleen Rural Electrification Project in Burkina Faso	ブルキナファソ	1.アフリカ	1.公	6.75	記載なし	1.Internal	African Development Bank (AfDB)	Burkina Rural Electrification Agency (ABER) (BURKINA FASO) African Guarantee Fund (AGF)	1.緩和	1.Energy access & generation	100地域にミニグリッドを整備、再生可能エネルギーによる農村電化に向けた民間資本導入の促進	5.N/A	N/A	27.7 (14.7:無償, 3.2:保証)	0	0.00	10.無償と有償と保証	60.4	3	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	0.39	335,000
FP094	Oct. 2018	Ensuring climate resilient water supplies in the Comoros Islands	コモロ	1.アフリカ	1.公	8	記載なし	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Energy, Agriculture, Fisheries, Environment, Country Planning and Urbanism (MEAPEATU) (COMOROS)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security	気候変動の影響を軽減した水関連法・税制の改訂、水貯蔵タンクの整備による水インフラの強化	41.9	0	0.00	1.無償(グラント)	60.8	6	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	N/A	1,250,000.0
FP095	Oct. 2018	Transforming Financial Systems for Climate	ベナン、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボワール、エジプト、ケニア、マダガスカル、モロコシ、ナミビア、ナイジェリア、セネガル、南アフリカ、タンザニア、トゴ、ウガンダ	1.アフリカ 3.中南米・カリブ	2.民	7	記載なし	1.Internal	Agence Française de Développement (AFD)	Agencia Francesa de Desarrollo (AFD)	3.緩和・適応	1.Energy access & generation 2.Forests and land use 3.Buildings, cities, industries and appliances	低炭素インフラ・設備への融資・技術支援の提供(再生可能エネルギー、住宅、農業、林業、水および廃棄物管理)	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	低炭素インフラ・設備への融資・技術支援の提供(再生可能エネルギー、住宅、農業、林業、水および廃棄物管理)	272.7 (35.2:無償)	0	0.00	5.無償と有償	742	2	4.大規模	A	2.記載無し	18.記載なし	36.00	1,000,000
FP096	Oct. 2018	DRC Green Mini-Grid Program	コンゴ民主共和国	1.アフリカ	2.民	5	記載なし	1.Internal	African Development Bank (AfDB)	African Development Bank	1.緩和	1.Energy access & generation	PV+蓄電池のハイブリッドミニグリッドの整備	5.N/A	N/A	21 (1:無償)	0	0.00	5.無償と有償	89	4	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	0.56	N/A
FP097	Oct. 2018	Productive Investment Initiative for Adaptation to Climate Change (Cambio II)	コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ	3.中南米・カリブ	2.民	5	記載なし	2.Direct	Central American Bank for Economic Integration (CABEI)	Central American Bank for Economic Integration (CABEI)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	農業・牧畜業・林業のMSESによる適応策への投資・技術支援	15.5 (3:無償)	0	0.00	5.無償と有償	28	1	2.小規模	C	2.記載無し	18.記載なし	N/A	69,720

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公/民	実施期間(年)	完了予定	GCFへのアクセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジェクトタイプ	緩和分類	緩和策キーワード	適応分類	適応策キーワード	GCF資金額(百万USD)	GCF支払い済額(%)	GCF支払い済額(百万USD)	資金供与方法	総事業費(百万USD)	他の資金調達先	プロジェクト規模	環境社会リスクカテゴリー	ジェンダーベネフィット	SDGsゴール	総GHG削減量(百万tCO2e/事業期間)	受益者数
FP103	Feb.2019	Promotion of climate-friendly cooking: Kenya and Senegal	ケニア、セネガル	1.アフリカ	1.公	5	記載なし	1.Internl.	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (GIZ) GmbH (GIZ)	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit Ministry of Energy (KENYA) SNV Development Organisation (NETHERLANDS) Enda Energie (SENEGAL) Enda ECOPOP Concept (SENEGAL)	1.緩和	3.Buildings,cities, industries and appliances	改良型調理用ストーブ (ICS) 市場の拡大および品質の向上	5.N/A	N/A	18.8	0	0.00	1.無償 (グラント)	26.9	1	3.中規模	B	2.記載無し	1.貧困 3.保健 5.ジェンダー 7.エネルギー 13.気候変動 15.陸上資源	0.88	1,906,000
FP104	Feb.2019	Nigeria solar IPP support program	ナイジェリア	1.アフリカ	2.民	3	記載なし	1.Internl.	Africa Finance Corporation (AFC)	Africa Finance Corporation (AFC)	1.緩和	1.Energy access & generation	太陽光発電IPPプロジェクト促進のための資金提供	5.N/A	N/A	100	0	0.00	2.有償 (ローン)	467	4	4.大規模	B	2.記載無し	7.エネルギー 9.イノベーション 13.気候変動	9.50	N/A
FP105	Feb.2019	BOAD climate finance facility to scale up solar energy investments in Francophone West Africa LDCs (Francophone : フランス語圏の国)	ベナン、ブルキナファソ、ギニアビサウ、マリ、ニジェール、トーゴ	1.アフリカ	2.民	7.0	記載なし	2.Direct	Banque Ouest Africaine de Développement (BOAD)	Banque Ouest Africaine de Développement (BOAD)	1.緩和	1.Energy access & generation	太陽光発電への投資拡大と資金提供、技術支援、規制の特組みの強化	5.N/A	N/A	69.3 (4.5: 無償)	0.0	0.00	5.無償 & 有償	138.6	2	3.中規模	B	2.記載無し	1.貧困 5.ジェンダー 7.エネルギー 8.成長・雇用 10.不平等 11.都市 12.生産・消費 13.気候変動 17.実施手段	4.80	N/A
FP106	Feb.2019	Embedded Generation Investment Programme (EGIP)	南アフリカ	1.アフリカ	2.民	5	記載なし	2.Direct	Development Bank of Southern Africa (DBSA)	Development Bank of Southern Africa (DBSA)	1.緩和	1.Energy access & generation	太陽光発電・風力発電のIPP事業への資金提供、地域の再生可能エネルギー事業への資金提供	5.N/A	N/A	100	0	0.00	2.有償 (ローン)	537	4	4.大規模	B	2.記載無し	18.記載なし	14.40	N/A
SAP005	Feb.2019	Enhanced climate resilience of rural communities in central and north Benin through the implementation of ecosystem-based adaptation (EBA) in forest and agricultural landscapes	ベナン	1.アフリカ	1.公	5	記載なし	1.Internl.	United Nations Environment Programme (UNEP)	General Directorate for Water, Forest and Hunting (DG EFC) (BENIN) Ministry of Livelihood and Sustainable	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	気候変動に強い農業技術と森林生態系の回復を統合したエコシステムベースの適応	9	0	0.00	1.無償 (グラント)	10	1	1.マイクロ	C	2.記載無し	18.記載なし	N/A	1,095,989
SAP006	Feb.2019	Building resilience of communities living in landscapes threatened under climate change through an ecosystems-based adaptation approach	ナミビア	1.アフリカ	1.公	5	記載なし	2.Direct	Environmenta l Investment Fund (EIF)	Ministry of Environment and Tourism (NAMIBIA)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	生態系保護と共に食糧と収入を得られるエコシステムベースの適応	8.9	0	0.00	1.無償 (グラント)	9.1	1	1.マイクロ	C	2.記載無し	12.生産・消費 14.海洋資源 15.陸上資源	N/A	216,000
FP107	Jul.2019	Supporting climate resilience and transformational change in the agriculture sector in Bhutan	ブータン	2.アジア太平洋	1.公	6	記載なし	1.Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	Gross National Happiness Commission (GNHC) (BHUTAN)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 3.Infrastructure and built environment	気候変動にレジリエントな農業活動の促進、気候変動リスクを水・土地管理に統合して小規模農家を支援	25.3	0	0.00	1.無償 (グラント)	58	6	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	N/A	267,068
FP108	Jul.2019	Transforming the Indus Basin with climate resilient agriculture and water management	パキスタン	2.アジア太平洋	1.公	6	記載なし	1.Internl.	Food and Agriculture Organization of the United Nations	Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	農業・水管理分野での適応に必要な情報を活用するための能力強化	35	0	0.00	1.無償 (グラント)	47.7	2	2.小規模	B	2.記載無し	18.記載なし	N/A	17,300,000
FP109	Jul.2019	Safeguarding rural communities and their physical assets from climate induced disasters in Timor-Leste	東ティモール	2.アジア太平洋	1.公	6	記載なし	1.Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	Ministry of Commerce, Industry and Environment (General Directorate for Environment) (TIMOR-LESTE)	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services 3.Infrastructure and built environment	気候リスクの評価と管理及び地方インフラサービス実施・資金提供・維持管理のための組織能力の強化	22.4	0	0.00	1.無償 (グラント)	59.4	5	3.中規模	B	2.記載無し	18.記載なし	N/A	522,000
FP110	Jul.2019	Ecuador REDD-plus RBP for results period 2014	エクアドル	3.中南米・カリブ	1.公	6	記載なし	1.Internl.	United Nations Development Programme (UNDP)	MAE (ECUADOR)	1.緩和	2.Forests and land use	REDD+	5.N/A	N/A	18.6	0	0.00	8.成果支払い	18.6	0	2.小規模	B	2.記載無し	18.記載なし	3.60	N/A

事業番号	承認年月	プロジェクト名	国	地域	公／民	実施期間 (年)	完了予定	GCFへのア クセス	認証機関	プロジェクト実施者	プロジェ クトタイプ	緩和分類	緩和策キーワード	適応分類	適応策キーワード	GCF資金額 (百万USD)	GCF支払い 済額 (%)	GCF支払い 済額 (百万 USD)	資金供与方法	総事業費 (百万USD)	他の資金 調達先	プロジェクト 規模	環境社会 リスクカデ グリー	ジェンダー メリット	SDGs ゴール	総GHG削減量 (百万tCO2e ／事業期間)	受益者数
FP111	Jul.2019	Promoting climate-resilient forest restoration and silviculture for the sustainability of water-related ecosystem services	ホンジュラス	3.中南 米・カリ ブ	1.公	5	記載なし	1.Internal	Inter- American Development Bank (IDB)	Ministry of Finance (SEFIN) (HONDURAS)	3.緩和・ 適応	2.Forests and land use	地方コミュニティと 民間部門を巻き込 んだ森林管理・利 用の促進	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	森林管理・利用の 促進による農村で の生計の多様化・ 水供給性の向上、 森林部門のガバナ ンス・財政の改善	35 (24.2:無 償)	0	0.00	5.無償と有償	79	6	3.中規模	B	2.記載無 し	18.記載 なし	10.5	558,000
FP112	Jul.2019	Addressing climate vulnerability in the water sector (ACWA) in the Marshall Islands	マーシャル諸島	2.アジア 太平洋	1.公	7	記載なし	1.Internal	United Nations Development Programme (UNDP)	United Nations Development Programme	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	雨水貯留システム の改善・地下水の 塩害防止による上 水資源の確保、水 管理能力の強化	18.6	0	0.00	1.無償 (グラン ト)	24.7	1	2.小規模	B	2.記載無 し	18.記載 なし	N/A	70,798
FP113	Jul.2019	Towards ending drought emergencies: Ecosystem based Adaptation in Kenya's arid and semi-arid rangelands (TWEENDE)	ケニア	1.アフリ カ	1.公	5	記載なし	1.Internal	International Union for Conservation of Nature (IUCN)	The Government of Kenya (GoK), through the Ministry of Agriculture and Irrigation (MoAI) and National Drought Management Authority (NDMA) (KENYA)	2.適応	5.N/A	N/A	4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	コミュニティでのエコ システムベースの適 応能力の強化・気 候情報へのアクセ ス改善、コテージ産 業の支援	23.2	0	0.00	1.無償 (グラン ト)	34.5	6	2.小規模	B	2.記載無 し	18.記載 なし	N/A	775,000
FP114	Jul.2019	Program on Affirmative Finance Action for Women in Africa (AFAWA): Financing climate resilient agricultural practices in Ghana	ガーナ	1.アフリ カ	2.民	5	記載なし	1.Internal	African Development Bank (AfDB)	African Development Bank Local financial institutions FBAs Agribusiness MSMEs	3.緩和・ 適応	1.Energy access & generation 2.Forests and land use	低炭素型農業の 促進	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities 2.Ecosystems and ecosystem services	女性が主導する MSMEsへの地方 銀行による融資の 支援	20 (1.5:無 償)	0	0.00	5.無償と有償	25.6	2	2.小規模	B	2.記載無 し	18.記載 なし	3.2	373,720
FP115	Jul.2019	Espejo de Tarapacá	チリ	3.中南 米・カリ ブ	2.民	5	記載なし	1.Internal	MUFG Bank, Ltd	Energía de Tarapacá SpA Tarapacá Fund Energía Valhalla	3.緩和・ 適応	1.Energy access & generation	海洋を利用した揚 水ダムと太陽光発 電の開発	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	海水淡水化による 淡水供給の確保	60	0	0.00	4.出資 (エクイ ティ)	1100	3	4.大規模	A	2.記載無 し	18.記載 なし	35	17,600,550
SAP007	Jul.2019	Integrated climate risk management for food security and livelihoods in Zimbabwe focusing on Masvingo and Rushinga Districts	ジンバブエ	1.アフリ カ	1.公	4	記載なし	1.Internal	World Food Programme (WFP)	Ministry of Lands, Agriculture, Water, Climate & Rural Resettlement (MoLAWCRR) (ZIMBABWE) World Food Programme	2.適応	5.N/A	N/A	1.Health, food and water security 4.Livelihoods of people and communities	気候情報へのアクセ ス改善による適 応能力強化、農 家への天候インデ ックス保険の展開	8.9	0	0.00	1.無償 (グラン ト)	10	1	1.マイクロ	C	2.記載無 し	18.記載 なし	N/A	102,000